

# 第23回 腹部放射線研究会

The Japanese Society of Abdominal Radiology (JSAR)

## プログラム

**会 期：2009年6月19日（金）～20日（土）**

**会 場：岡山コンベンションセンター**

〒700-0024 岡山市北区駅元町14番1号

TEL：086-214-1000

HPアドレス：<http://www.mamakari.net/>

**当番世話人：金澤 右**

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

TEL：086-235-7313 FAX：086-235-7316

E-mail：[fukubu09@cc.okayama-u.ac.jp](mailto:fukubu09@cc.okayama-u.ac.jp)

**研究会 HP：<http://www.jsar.jp/23th/>**

（第23回ホームページ上の「宿泊・旅行案内」もご活用下さい。）

# 腹部放射線研究会

	会期 / 開催地	当番世話人	テーマ / 演題数	講演・企画等
第 1 回	'90 10. 3 秋田県	打田日出夫 (奈良医大)	肝・胆・膵 24 題	—
第 2 回	'91 2. 23 大阪府	永井 純 (自治医大)	泌尿器・生殖器 55 題	慈恵医大 第二病理 藍澤茂雄先生 「腎の腫瘍性病変」
第 3 回	'91 11.13 兵庫県	黒田 知純 (大阪成 C.)	肝・胆・膵 46 題	大阪市大 第二病理 桜井幹己先生 「肝細胞癌の類似病変」
第 4 回	'92 2. 29 東京都	平松 慶博 (東邦大)	泌尿器・生殖器 39 題	京都大 病理学 山邊博彦先生 「睾丸及び卵巣腫瘍の外科病理学」
第 5 回	'92 11. 6 東京都	平松 京一 (慶応大)	肝・胆・膵 42 題	栃木がん C. 外科 尾形佳郎先生 「肝癌における術前画像診断の意義」
第 6 回	'93 2. 27 東京都	宗近 宏次 (昭和大)	泌尿器・生殖器 48 題	東海大 病理学 2 長村義之先生 「副腎及び後腹膜疾患の病理」 * フィルムリーディングセッション
第 7 回	'93 11.17 山口県	板井 悠二 (筑波大)	肝・胆・膵 62 題	癌研究所 病理 加藤洋先生 「肝癌の病理」
第 8 回	'94 3. 12 東京都	石川 徹 (聖マ医大)	泌尿器・生殖器 58 題	昭和大学 放射線科 宗近宏次先生 「前立腺癌の画像診断と病理」 コメンテーター：慈恵医大 第二病理 藍澤茂雄先生
第 9 回	'95 5. 12-13 石川県	松井 修 (金沢大)	総合テーマ 77 題	金沢大学 病理学 2 中沼安二先生 「肝血行異常の病理」 * フィルムリーディングセッション
第 10 回	'96 5.17-18 東京都	隈崎 達夫 (日本医大)	総合テーマ 65 題	K. Ivancev, MD, PhD, Malmoe Gneral Hsp. "Hepatic Tumor Blood Supply" パネルディスカッション「肝癌—その診断・治療戦略」
第 11 回	'97 5. 9-10 大分県	森 宣 (大分医大)	総合テーマ 83 題	大分医大 検査部 横山繁生先生 「子宮病変の病理」 コメンテーター 島根医大 杉村和朗先生 * フィルムインタープリテーションセッション
第 12 回	'98 6.12-13 大阪府	中村 仁信 (大阪大)	総合テーマ 80 題	B. I. Choi, MD, Seoul National University "Liver Tumor : Recent Progress of US" パネルディスカッション「嚢胞性膵腫瘍の画像診断」 * フィルムカンファレンス (肝疾患)
第 13 回	'99 6.18-19 島根県	杉村 和朗 (島根医大)	総合テーマ 104 題	特別企画「前立腺癌の診断と治療」 * フィルムリーディング「タイムショック」
第 14 回	'00 5.11-13 山梨県	荒木 力 (山梨医大)	総合テーマ 121 題	順天堂大学 第一病理学 須田耕一先生 「膵臓疾患の病理」 * フィルムリーディングセッション
第 15 回	'01 6.1-2 兵庫県	中尾 宣夫 (兵庫医大)	総合テーマ 130 題	久留米大学 病理学教室 神代正道先生 「早期肝細胞癌を巡る問題点」 * パネルセッション
第 16 回	'02 5. 31-6.1 大阪府	富樫かおり (京大)	総合テーマ 131 題	久留米大学 病理学教室 神代正道先生 「早期肝細胞癌を巡る問題点」 * フィルムリーディングセッション
第 17 回	'03 5. 30-31 東京都	大友 邦 (東京大)	総合テーマ 139 題	東京大学女性外科 中川俊介先生 「婦人科悪性腫瘍の治療における新しい指標」 東京大学 肝胆膵外科 國土典宏先生 「肝臓外科における術中超音波の進歩」 * パネルクイズセッション
第 18 回	'04 5. 28-29 長野県	角谷 眞澄 (信州大)	総合テーマ 164 題	信州大学産婦人科学 小西郁生先生 「子宮肉腫の術前診断」 奈良県立医科大学病理診断学 野々村昭孝先生 「奇異なる肝腫瘍“血管筋脂肪腫”の臨床病理」 * パネルクイズセッション
第 19 回	'05 6. 3-4 熊本県	山下 康行 (熊本大)	総合テーマ 170 題	Special Lectur Kyoung Sik Cho, M.D. & Byung Ihn Choi, M.D. 熊本大学 婦人科学分野 片淵秀隆先生 「エニグマティックな婦人科疾患：子宮内膜症」 * パネルクイズセッション
第 20 回	'06 5. 26-27 東京都	今井 裕 (東海大)	総合テーマ 135 題	慶應義塾大学医学部 病理学教室 坂元亨宇先生 「マクロを中心とした肝癌の進展様式」 昭和大学医学部 第一病理学教室 諸星利男先生 「膵嚢性病変の組織像」 * パネルクイズセッション
第 21 回	'07 6.1-2 宮崎県	田村 正三 (宮崎大)	総合テーマ 145 題	宮崎県立宮崎病院 病理科 林 透先生 「子宮体部の病理—腫瘍を中心に—」 東京大学大学院医学系研究科 人体病理学・病理診断学分野 福嶋敬宜先生 * パネルクイズセッション
第 22 回	'08 6. 6-7 茨城県	南 学 (筑波大学)	総合テーマ 143 題	大阪市立大学大学院 放射線医学教室 中村健治先生 「腹部 IVR でおさえておくべき画像診断—ヒアリハットを含めて—」 京都医療センター 研究検査科 南口早智子先生 「胎盤病理・マクロの基本」

## 「晴れの国、岡山」へようこそ

## 第23回 腹部放射線研究会

当番世話人 金澤 右

岡山大学大学院医歯薬学  
総合研究科 放射線医学

第23回腹部放射線研究会を平成21年6月19日（金）ならびに20日（土）の両日に岡山市の岡山コンベンションセンターにて開催させていただきます。全国より150題を超える演題を寄せてくださった皆様にもまず感謝申し上げたいと思います。そして、参加されるすべての皆様にご満足いただけますように岡山大学放射線医学教室一同精一杯会の運営に当たりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

本研究会においては、貴重な腹部画像症例に病理学的検討を加えて深く掘り下げることが伝統的な特徴であります。今回も気鋭の病理の先生方に参加していただいて口演発表については病理的なコメントをいただき、その伝統を守りたいと思っております。また、口演だけではなく、ポスターについても短時間ではございますがディスカッションの時間を設けました。口演ならびにポスター発表の座長をお願いした先生方は全国の第一線で活躍されている腹部放射線診断のプロフェッショナルです。会を大いに盛り上げてくださることと期待しております。基調講演は脾臓病理学の大家である京都府立医科大学の柳澤昭夫先生と岡山大学病院の誇る肝・胆・脾外科の名手八木孝仁先生にお願いしました。放射線科と関係の深い病理医、外科医から学ばせていただく貴重な機会と思っております。ぜひご拝聴下さい。教育（クイズ）展示は、全症例私どもの関連病院から出させていただくことといたしました。知的な「謎解き」への皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

岡山市は気候温暖な中国四国地方の交通要地ではありますが、本年4月より政令指定都市となり、市民は今後の発展の決意も新たにしているところです。市内には後樂園、岡山城など城下町としての香りがまだ漂っております。また、岡山県は江戸時代には蘭学・西洋医学の先進地でもあり、緒方洪庵、箕作阮甫、宇田川玄南などの著名な蘭学者を輩出しました。シーボルトの娘のイネはその一人である石井宗謙のもとに修行に訪れており、当時の彼女の居住地は岡山市中心部に「おらんだ通り」として記念されています。この機会に岡山とその西洋医学の歴史にも触れていただけたらと思います。

会場は岡山駅コンコースから雨にぬれずに直接歩いておこしいただける至便の施設であります。「晴れの国、岡山」ではございますが、梅雨時でもあり、皆様のお足もとが濡れることがないようにと考慮させていただきました。

恒例のサッカー大会も鋭意準備しており、参加される先生方には大いに楽しんでいただきたいと思います。地元のプロサッカーチーム「ファジアーノ岡山」は本年よりJ2リーグに昇格して奮闘中ですが、会場より徒歩10分のホーム「桃太郎スタジアム」では会期翌日の6月21日正午過ぎにはリーグ戦が開催されます。会終了後お時間あれば観戦してお楽しみいただきたいと思います。

岡山大学放射線医学教室の精いっぱいホスピタリティをもちまして、皆様を岡山にお迎えしたいと思っております。「晴れの国、岡山」へようこそ。

## 1. 総合受付

- 1) 受付は、岡山コンベンションセンター 3F コンベションホール前ホワイエにて、6月19日（金）、20日（土）8：00より開始致します。
- 2) 参加費は5,000円です。参加費と引き換えに名札（兼出席証明書）をお受取下さい。

## 2. 一般演題

### 【一般口演】

#### 1) 座長

- ・ご担当頂くセッションの終了時間を厳守して下さい。一般口演の発表時間はすべて5分、討論時間は各口演につき3分（ディスカッション2分、病理などのコメント1分）とします。

#### 2) 発表者

##### 発表時間

- ・一般口演の発表時間は発表5分・討論時間3分です。時間厳守をお願い致します。

##### 発表形式

- ・液晶プロジェクター（1画面）による発表ですので、ご自身のPCもしくはデータをご持参下さい。スライドは使えません。
- ・舞台上に用意されたマウス、スイッチボックスを演者ご自身で操作して頂くリモートプレゼンテーションです。

##### 受付

- ・PCの受付は、3Fホワイエにございます。発表の30分前に試写をお済ませ下さい。（混雑が予想されますので、十分時間の余裕を持って、随時PC受付を行って頂きます様ご協力下さい。）
- ・PC受付での発表データの修正作業は、準備進行の妨げになりますのでご遠慮下さい。

##### 発表に関する注意事項

- ・ご発表は、リモートプレゼンテーションを使用して頂きます。演台に液晶モニターとマウス、スイッチボックスが設置されておりますので、これら进行操作して下さい。
- ・PCは演台に置きませんので、発表者ツール等をご利用頂けません。予めご了承下さい。

### < PC 本体を持参される方 >

- ・受付スタッフの指示に従って試写用モニターで確認をして下さい。
- ・モニター出力端子が、Dsub-15ピン・3段以外はプロジェクターとの接続が出来ません。この形式以外の端子は接続用のアダプタが必要ですので必ずご持参下さい。また、バッテリー切れを防ぐため電源アダプタをご用意下さい。
- ・画面の解像度はXGA（1024 × 768）をお願いします。
- ・バックアップメディアも持参されることをお勧めします。

### < データのみ持参される方 >

- ・メディアはCD-RまたはUSBフラッシュメモリのみ受け付けます。
- ・受付スタッフの指示に従ってデータをコピーして、試写をして下さい。
- ・研究会で用意しますパソコンのOSはWindowsXPおよびMacOS Xです。アプリケーションはWindows版のPowerPoint2003またはPowerPoint2000、2002（XP）、2003、2007、Macintosh版のPowerPoint2001、2004、Xまたは、keynote1です（Mac版について互換性の関係で必ずOS Xで作成して下さい）。フォントはOS標準のもののみ対応致します。画面の解像度はXGA（1024 × 768）です。
- ・動画等がある場合には、予め受付スタッフにお伝え下さい。なお、動画データ等の参照ファイルは全て同じフォルダに入れて下さい（PPTへの貼付けリンクの確認もお願い致します）。動画ファイル形式は、Windows Media Playerで動作するファイル形式（推奨：WMV）をご使用下さい。（AVIはCODECによって再生できない場合があります。）

##### 病理標本

- ・口演については病理学の先生にコメンテーターをお願いしております。病理コメンテーターの先生方よりご要望のあった演題については事前にプレパラートを送付頂く事になります。5月23日までにプレパラートを郵送頂きますようお願い致します。なお、お預かりしましたプレパラートは、口演が終わりましたら病理受付にて返却致しますのでお忘れのないようご注意ください。

**【ポスター展示】**

ポスター展示については、一般展示、問題提示（クイズ）形式の両方で行います。展示の先生方は各自どちらの方法かをプログラムで確認のもと、作成をお願い致します。今回、Film Reading のクイズ症例に関しては岡山大学およびその関連病院の症例を中心に集めますが、一部募集した演題の中からお願いすることがあります。

**1) 一般展示発表者****ポスター作成（5～6ページのポスター作成見本を参考に作成下さい）**

- ・ポスターを掲示するパネルの大きさはパネル上：横 115cm × 縦 90cm、パネル下：横 115cm × 縦 90cm で作成下さい。

**2) ポスターディスカッション**

- ・第 1 日目の 17：40～18：25 までポスターディスカッションを行いますので、ご自分のポスターの前で待機しておいて下さい。各セッションの座長の進行に従って、3分程度で要旨のプレゼンテーションをお願い致します。
- ・病理コメントーターの先生方よりご要望のあった演題については事前にプレパラートを送付頂くことがあります。5月23日までにプレパラートをご郵送頂きますようお願い致します。ポスターディスカッションが終わりましたら病理受付にて返却致しますので、お忘れのないようにご注意下さい。

**3) クイズ展示発表者****ポスター作成（5～6ページのポスター作成見本を参考に作成下さい）**

- ・ポスターを掲示するパネルの大きさはパネル上（出題）：横 115cm × 縦 90cm、パネル下（解答解説）：横 115cm × 縦 90cm で作成下さい。
- ・出題部分には患者の年齢、性、簡単な主訴や経過、症例の画像のみを集めて作成して下さい。図の説明は検査法のみとし、所見の解説はつけないようお願い致します。矢印や矢頭はつけて頂いても構いません。
- ・解答解説部分には演題名に続いて、画像の説明、最終診断、症例の解説をお願い致します。出題部分と重複してお示し頂いても構いません。
- ・受付の際に 90cm × 116cm の紙をお渡し致しますので、解答解説部分を隠すように貼って下さい。第 1 日目の 18：30 に係りのものが紙を外して解答解説を公開致します。

**ポスター提示について**

- ・ポスター展示会場は 3 階 302 会議室ホワイエです。第 1 日目午前 11：00 までにポスター会場にて展示受付をお済ませ下さい。
- ポスターを掲示するパネルに演題番号がついていますので、会場に用意されたマジックテープをお使いになって掲示して下さい。
- ・全プログラム終了後、直ちにポスターの撤去をお願い致します。終了後 30 分経過しても残っているポスターは処分致しますので、ご了承下さい。

**4) 参加者**

- ・ポスター展示の閲覧時間は第 1 日目 11：00～19：30、2 日目 8：00～17：30 です。
- 第 1 日目の 18：30 までクイズ展示ポスターの解答・解説は隠されています。
- ・会場には解答用紙を用意しておきますので、解答・解説が発表される前に皆様奮って解答をご記入下さい。なお、解答・解説は第 1 日目の 18：30 に公開されますので、それまでに会場に用意された箱に記名のうえご投函下さい。
- ・上位の方には当番世話人が心ばかりの賞品をご用意致します。
- ・今回、第 1 日目の 17：40～18：25 までポスターディスカッションを行います。

**3. 世話人会**

日 時：6月19日（金） 13：05～13：45

場 所：301 会議室

**4. 展示クイズ企画**

日 時：6月19日（金） 11：00～18：30

場 所：ホワイエ（解答の発表は 18：30～）

**5. 打田賞受賞講演・表彰**

日 時：6月20日（土） 13：00～13：30

## 6. 基調講演 (スポンサードセミナー バイエル薬品株式会社)

### 基調講演 1

日時：6月19日(金) 11:25～12:05  
座長：吉野 正先生 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍病理  
演者：柳澤 昭夫先生 京都府立医科大学大学院 人体病理部  
『脾腫瘍一画像が組織診断に・組織像が画像診断に教えてくれること』

### 基調講演 2

日時：6月20日(土) 10:30～11:10  
座長：金澤 右先生 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学  
演者：八木 孝仁先生 岡山大学病院 肝胆膵外科  
『肝胆膵領域の手術の限界』

## 7. 共催セミナー

### ランチョンセミナー 1 東芝メディカルシステムズ株式会社

日時：6月19日(金) 12:15～13:05  
座長：三村 秀文先生 岡山大学大学院歯薬学総合研究科 放射線医学  
演者：吉川 武先生 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線医学分野  
機能・画像診断学部門  
CT 『320列 Area-Detector CT の体幹部における初期経験と可能性 ～腹部領域を中心として～』  
演者：伊東 克能先生 川崎医科大学 放射線医学画像診断  
MRA 『肝・胆・膵臓領域の機能・血流イメージング ～非造影 MR を中心に～』

### ランチョンセミナー 2 シーメンス旭メディテック株式会社

日時：6月20日(土) 12:10～13:00  
座長：角谷 眞澄先生 信州大学医学部 画像医学講座  
演者：Sung Eun Rha M.D, PhD The Catholic University of Korea, College of Medicine,  
Seoul st. Mary's Hospital  
『Abdominal and Pelvic MRI @ 3T System』

### イブニングセミナー 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

日時：6月19日(金) 16:50～17:40  
座長：本田 浩先生 九州大学大学院医学研究院 臨床放射線科学教室  
演者：内田 政史先生 久留米大学医学部 放射線医学教室  
『腹部、特に肝胆膵領域における 256 slice CT の応用』  
演者：今井 裕先生 東海大学医学部放射線科  
『MultiTransmit (新 RF 送信技術) による 3T MRI での腹部画像について』

## 8. 展示出展プレゼンテーション・企業展示

### 展示出展プレゼンテーション

日時：6月20日(土) 10:06～10:16  
座長：郷原 英夫先生 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学  
発表1：株式会社 AZE  
発表2：ピー・エス・ピー株式会社

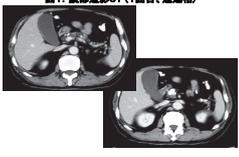
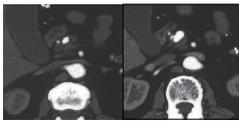
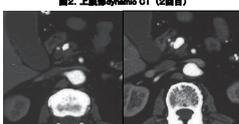
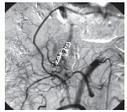
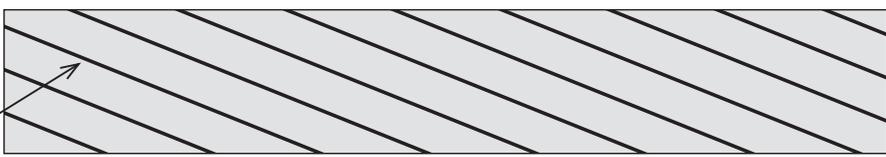
### 企業展示 (6月19日(金)～20日(土))

株式会社 AZE、ピー・エス・ピー株式会社

# 一般ポスターの見本 (A4 用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

## 一般ポスターの見本(A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

A4用紙を使った場合、上の欄には最大3列×4行、下の欄には最大3列×3行、計21枚のA4用紙が横置きで貼り付けられます。

事務局で準備します	使用しません	135mm ↓ 60mm	
<p><b>嚢胞術で治療した Hemosuccus Pancreaticus の1症例</b></p> <p>魚山 征史, 堀生 真, 南 学, 赤羽 正孝, 吉岡 直紀, 古賀 久雄, 飯沼 慎, 大友 邦 東京大学医学部附属病院放射線科</p>	<p><b>症例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>68歳男性</li> <li>主訴: 下血、心窩部痛、嘔吐、冷汗</li> <li>日本滞在外2年</li> <li>5月検診にて貧血指摘(ヘモグロビン 9.0g/dl)近接受診。7月頃下血が一度あり、9月に気分不快、悪心、嘔吐、下血があり、他院緊急入院。Hbが急激に減少。CT, US行っても出血源不明。11月に血便、ふらつきがあったため、当院受診。Hb 6.8と低下のため緊急入院。</li> </ul>	<p><b>入院後経過</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Hb 6.8 l/g/dl, CRP &lt;0.3 mg/dl</li> <li>正球性貧血 (RBC 227万 l/μL, MCV 88.1)</li> <li>amylase 189 IU/L, p-amylase 74 l IU/l</li> <li>胆管上下部内径狭 - 明らかな出血源なく、十二指腸のsecond portion へのみ血液付着</li> <li>CT(一回目): 嚢性脾炎指摘、脾臓部に石灰化</li> <li>小腸造影 - 異常なし</li> <li>HSA出血シンチ - 異常なし</li> <li>輸血(MAP 2Lx6回)</li> </ul>	900mm
<p><b>図1. 腹部造影CT(1回目、遅延相)</b></p> 	<p><b>図2. 上腹部dynamic CT(2回目)</b></p> 	<p><b>図3. MPVR-MIP</b></p> 	900mm
<p><b>図4. 腹腔動脈造影</b></p> 	<p><b>図2. 上腹部dynamic CT (2回目)</b></p>  <p>脾石灰化に続いて胃十二指腸動脈(矢印)につながるように腫瘍(矢印)を認める。</p>	<p><b>図5. 胃十二指腸動脈造影</b></p>  <p>胃上十二指腸動脈起始部近くに嚢性腫瘍を認める。この嚢は図9、4でも見えている。</p>	900mm
<p><b>嚢胞術後の上腹部動脈造影にて、後下十二指腸動脈起始部の近くにも小さな嚢性腫瘍の存在を認めたが、脾炎の合併を認め、嚢胞術は追加しなかった。</b></p> 	<p><b>5ヶ月後のERCP</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>主膵管内に結石</li> <li>膵管拡張</li> </ul>	<p><b>Hemosuccus Pancreaticus</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Sandham P(1970)が最初に報告</li> <li>膵管からの大量の出血を指す</li> <li>ほとんどのが嚢性脾炎に伴うもの</li> <li>嚢性脾炎の膵管内破裂により膵管から出血</li> <li>その他に外傷性、富血性腫瘍の壊死部、迷走脾(異所性脾)などによるものも報告されている</li> </ul> <p>・報告 65例(嚢胞術による治療例 9例)</p>	60mm
<p><b>Hemosuccus Pancreaticus : 診断</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出血は間欠的のため、脾臓から膵管への出血が推定されるのはまれ。(Suter, 1988)</li> <li>内視鏡で主膵管からの出血をもって診断(Morise, 1982; Jacobs, 1992)。</li> <li>内視鏡で不明なものは血管造影が有用(Shahani, 1994)。</li> <li>CTで嚢性脾炎、動脈瘤。</li> <li>3D-CTangiography も有用 (Meisfeldt, 1997)。</li> </ul>	<p><b>Hemosuccus Pancreaticus : 治療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手術                     <ul style="list-style-type: none"> <li>脾部分切除、脾臓、動脈の結紮</li> </ul> </li> <li>嚢胞術                     <ul style="list-style-type: none"> <li>動脈瘤の近位-遠位の嚢胞</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>Hemosuccus Pancreaticus</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>嚢性脾炎に嚢性動脈瘤が合併する頻度は約10% (White, 1978; Hofer, 1997)。</li> <li>嚢性脾炎症例における消化管出血を呈した場合、この疾患を念頭に置いて詳細に診断する必要がある。</li> </ul>	900mm
<p>この部分が見にくいので、掲載しないようにして下さい。</p> 			80mm
1160mm			80mm

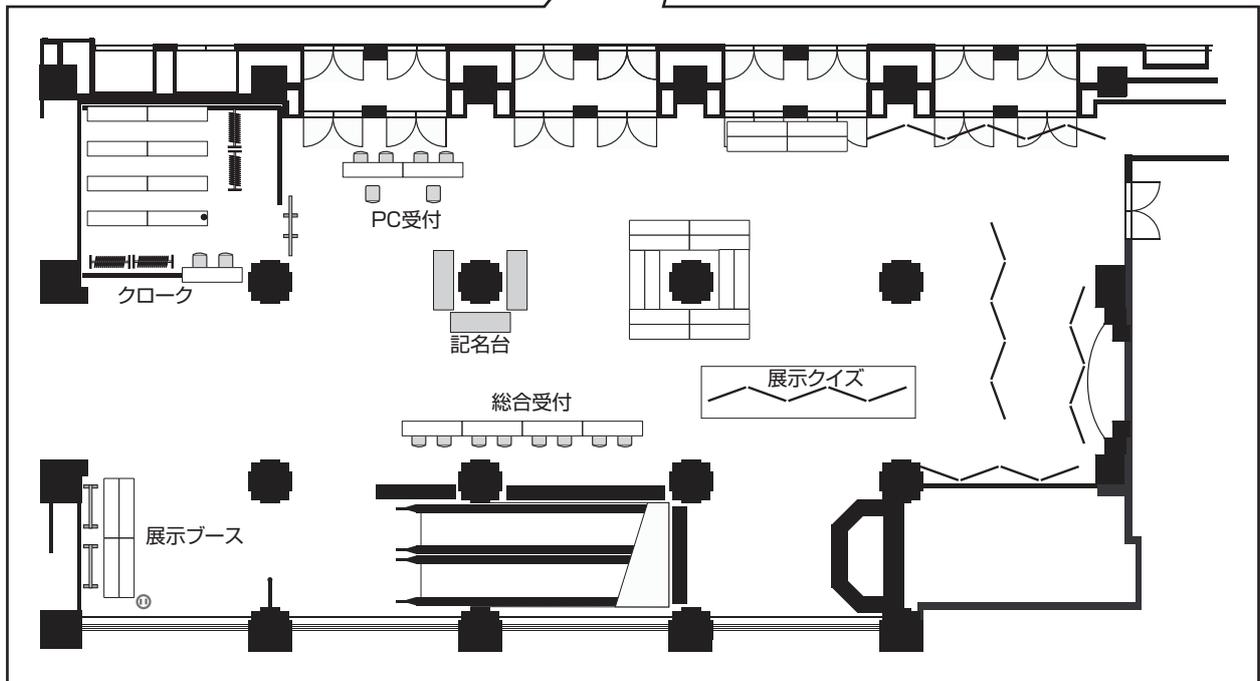
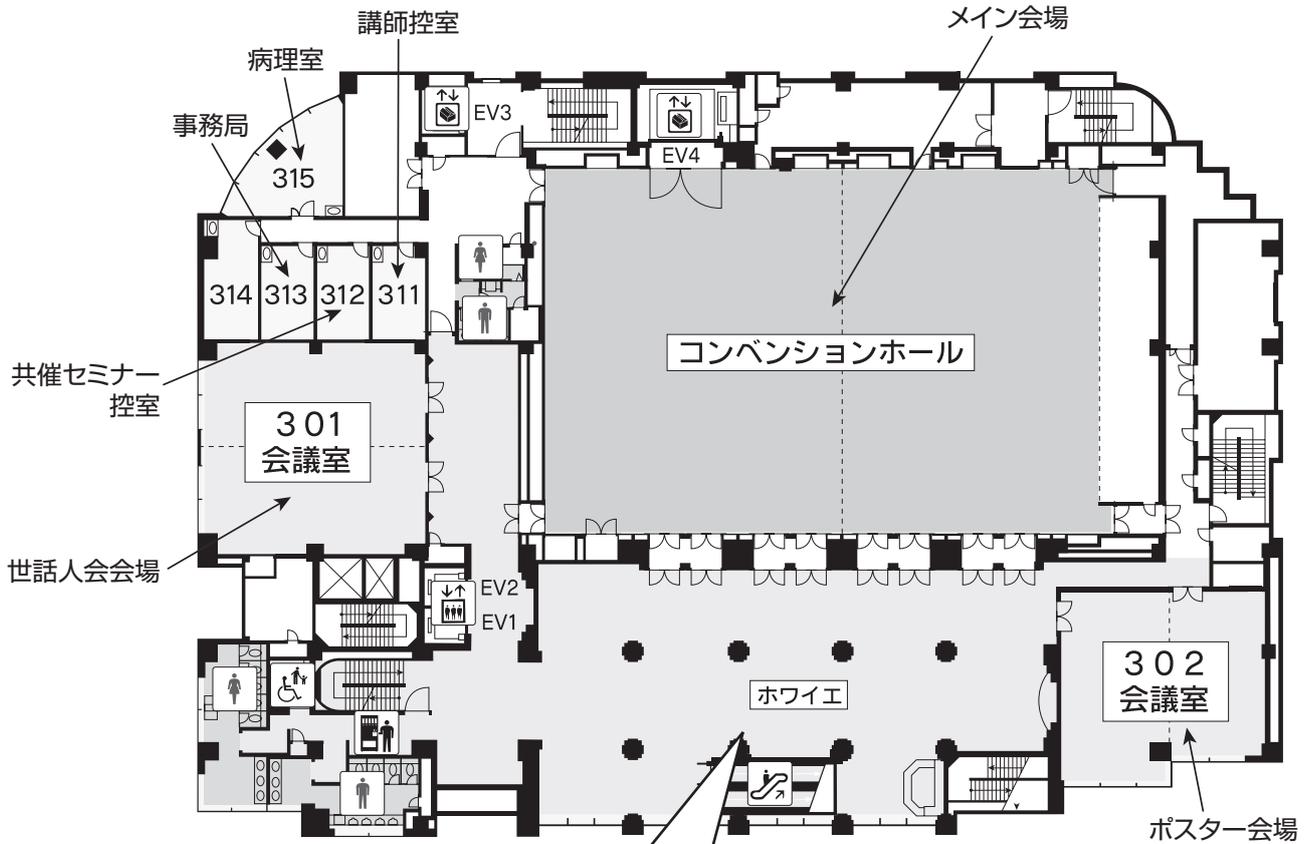
# クイズポスターの見本 (A4 用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

## クイズポスターの見本(A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

A4用紙を使った場合、下の解答・解説欄には最大3列×3行、上の問題欄には3列×4行、計21枚のA4用紙が横置きで貼付けられます。

事務局で準備します	使用しません	
図に番号をふっておくと解説の際に便利です (論文の様に)		
<p><b>症例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>66歳男性</li> <li>主訴: 下血、心窩部痛、嘔吐、冷汗</li> <li>日本酒2合x2年</li> <li>5月病診にて動脈血糖(空腹)9.8mmol/L(178mg/dl)、7月空腹血糖11.0mmol/L(198mg/dl)に異常不飽和、貧血、嘔吐、下血があり、急激な貧血、Hb 6.5g、輸血、OT、US行っても出血源不明。11月に造影、あらゆる場所がなかったため、盲腸切除、Hb 6.8と低下のため緊急入院。</li> </ul> <p>この線の境に、解答・解説欄は下の行に、問題欄は上の行につめて下さい。</p>	<p><b>図1. 腹部造影CT (1回目、造影相)</b></p>	<p><b>図2. 上腹部dynamic CT (2回目)</b></p> <p>肝石灰化に際して胃十二指腸動脈(矢印)につながるように盲腸動脈(矢印)を認める。</p>
<p>この線を見にくいので、掲載しないようにして下さい。</p>	<p><b>図3. MPVR-MIP</b></p>	<p><b>図4. 腹腔動脈撮影</b></p> <p>画像所見の解説にはここでは伏せて、どういう検査法のみめしてください(Key pointがわかりにくい場合は矢印などを付け、その解説は解答・解説欄で述べてください)</p>
		<p>Key imageは繰り返して提示していただいてもかまいません。</p>
<p>この部分が見にくいので、掲載しないようにして下さい。</p>	<p><b>塞栓術で治療した Hemorrhagic Pancreatic の1症例</b></p> <p>魚山 登志、藤生 茂、南 学、赤羽 正孝、吉岡 直紀、古賀 久雄、渡辺 慎、大友 邦</p> <p>東京大学医学部附属病院放射線科</p>	<p><b>入院後経過</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Hb 6.8 ↓ g/dL, CRP 43.3 mg/d</li> <li>正球性貧血 (RBC 227万 1/μL, MCV 88.1)</li> <li>amylase 158 IU/L, p-amylose 74 1 IU/L</li> <li>腸管上下部内視鏡 - 明らかな出血源なく、十二指腸腸のsecond portion への出血点付着</li> <li>CT (1回目): 慢性膵炎併発、脾臓部に石灰化</li> <li>小腸造影 - 異常なし</li> <li>HSA出血シグナル - 異常なし</li> <li>糖化HbA1c 5.3(29)</li> </ul>
<p>最終診断、それに引き続き解説</p>	<p><b>図5. 胃十二指腸動脈撮影</b></p> <p>後上腸十二指腸動脈近位に慢性膵炎を認める。この部は第3、4でも見えている。</p>	<p><b>最終診断 Hemorrhagic Pancreatic</b></p> <p>hemo=[G.Ante] blood suous=[L.] juke</p> <p>塞栓術後の上腹部動脈撮影にて、後上腸十二指腸動脈近位の近位にも小さな慢性膵炎の病変を認めたが、再発の合併を認め、塞栓術は追加しなかった。</p>
<p>必要な場合はreferenceを加えて下さい</p>	<p><b>Hemorrhagic Pancreatic</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Sandblom P.(1970)が最初に報告</li> <li>腸管からの大量の出血を伴う</li> <li>ほとんどものが慢性膵炎に伴うもの</li> <li>慢性膵炎の腸管内破綻により腸管から出血</li> <li>その他に外傷性、富血性腫瘍の移行性、遷延性(異所性)などによるものも報告されている</li> <li>報告 65例 (塞栓術による治療例 6例)</li> </ul>	<p><b>Hemorrhagic Pancreatic : 診断</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出血は慢性膵炎のため、腸管から腸管への出血が抽出されるのが多い。(Sauer, 1965)</li> <li>内視鏡で主腸管からの出血をもって診断(Moran, 1962; Jacobs, 1962)。</li> <li>内視鏡で不明なものは血管造影が有用(Shahani, 1994)。</li> <li>-OTで慢性膵炎、膵腫瘍。</li> <li>-3D-CTangiographyも有用 (Makrwich, 1997)。</li> </ul>

# 3rd Floor



## プログラム・日程表

	6月19日(金)	6月20日(土)
8:30		
9:00	8:55~9:00 開会の挨拶	8:30~9:18 消化管 0-37~0-42
	9:00~9:48 腎・副腎 0-1~0-6	9:18~10:06 脾-1 0-43~0-48
10:00	9:48~10:28 後腹膜 0-7~0-10	10:06~10:16 展示出展プレゼンテーション 休憩 約15分
	休憩 約15分	10:30~11:10 基調講演2
11:00	10:45~11:25 腸間膜・腹壁 0-11~0-15	11:10~11:58 脾-2 0-49~0-54
12:00	11:25~12:05 基調講演1	
	12:15~13:05 ランチョンセミナー 1	12:10~13:00 ランチョンセミナー 2
13:00	13:05~13:45 展示・クイズ形式展示を見る 世話人会	13:00~13:30 打田賞受賞講演
		13:30~13:50 事務局報告
14:00	13:50~14:38 子宮 0-16~0-21	13:50~14:30 胆道 0-55~0-59
		休憩 約15分
15:00	14:38~15:18 卵巣-1 0-22~0-26	14:45~15:33 肝 0-60~0-65
	休憩 約15分	
16:00	15:30~16:10 卵巣-2 0-27~0-31	15:33~16:21 肝・脾 0-66~0-71
	16:10~16:50 尿道・精巣・その他 0-32~0-36	16:21~ 閉会の挨拶
17:00	16:50~17:40 イブニングセミナー	
18:00	17:40~18:25 ポスターディスカッション	
19:00	18:30~ クイズ症例回答発表	
20:00		

## 口 演 (6月19日)

8:55~9:00 開会の挨拶

---

9:00~9:48 セッション 1. 腎・副腎 (6題)

---

座 長 三森 天人(姫路赤十字病院 放射線科)  
コメンテーター 柳井 広之(岡山大学病院 病理診断科/病理部)

### O-1 偽被膜を伴い腎癌との鑑別が困難であった腎血管筋脂肪腫の一例

伊藤 康志<sup>1</sup>, 中西 克之<sup>1</sup>, 西澤 恭子<sup>2</sup>  
大阪府立成人病センター 放射線診断科<sup>1</sup>, 大阪府立成人病センター研究所 病理学部門長<sup>2</sup>

### O-2 腎のAngiomyolipoma with epithelial cystsの一例

秋田 大宇<sup>1</sup>, 陣崎 雅弘<sup>1</sup>, 谷本 伸弘<sup>1</sup>, 杉浦 弘明<sup>1</sup>, 大杉 圭<sup>1</sup>, 三上 修治<sup>2</sup>,  
栗林 幸夫<sup>1</sup>  
慶應義塾大学医学部 放射線診断科<sup>1</sup>, 慶應義塾大学医学部 病理診断部<sup>2</sup>

### O-3 Chemical shift imagingで信号低下を認めた嫌色素腎細胞癌の一例

笹栗 弘平<sup>1</sup>, 入江 裕之<sup>2</sup>, 中園 貴彦<sup>2</sup>, 鈴木 宗村<sup>2</sup>, 蒲地 紀之<sup>2</sup>, 中島 啓二<sup>3</sup>,  
魚住 二郎<sup>3</sup>, 山口 健<sup>4</sup>, 戸田 修二<sup>4</sup>, 梶原 哲郎<sup>1</sup>  
佐賀県立病院好生館 放射線科<sup>1</sup>, 佐賀大学医学部 放射線科<sup>2</sup>, 佐賀大学医学部 泌尿器科<sup>3</sup>,  
佐賀大学医学部 病理部<sup>4</sup>

### O-4 嚢胞性腎癌と鑑別困難であった転移性腎盂腫瘍(子宮体癌)の1例

竹田 太郎<sup>1</sup>, 山本 貴之<sup>1</sup>, 川原 清哉<sup>1</sup>, 山田 篤史<sup>1</sup>, 高橋 孝博<sup>1</sup>, 小倉 昌和<sup>1</sup>,  
左合 直<sup>1</sup>, 河野 眞範<sup>2</sup>  
福井赤十字病院 放射線科<sup>1</sup>, 福井赤十字病院 泌尿器科<sup>2</sup>

### O-5 副腎chronic expanding hematomaの1例

迫田 慈子<sup>1</sup>, 浦島 正喜<sup>1</sup>, 西原 礼介<sup>1</sup>, 松浦 明子<sup>1</sup>, 大成 妙<sup>1</sup>, 伊東 淳<sup>1</sup>,  
影本 正之<sup>1</sup>, 原野 雅生<sup>2</sup>, 渡邊 佑介<sup>2</sup>, 松浦 博夫<sup>3</sup>, 高田 晋一<sup>3</sup>  
広島市民病院 放射線科<sup>1</sup>, 広島市民病院 外科<sup>2</sup>, 広島市民病院 病理部<sup>3</sup>

### O-6 腎被膜由来の腎血管筋脂肪腫の1例

治山 高広, 今村 哲夫, 福島 純一, 堀江 重郎, 古井 滋, 竹下 浩二  
帝京大学医学部 放射線科

---

9:48~10:28 セッション 2. 後腹膜 (4題)

---

座 長 高橋 哲(住友病院 放射線科)  
コメンテーター 柳井 広之(岡山大学病院 病理診断科/病理部)

### O-7 後腹膜原発のSolitary fibrous tumorの1例

井上 快児<sup>1</sup>, 岡田 吉隆<sup>1</sup>, 小澤 栄人<sup>1</sup>, 岡本 光順<sup>2</sup>, 小山 勇<sup>2</sup>, 山口 浩<sup>3</sup>,  
本杉宇太郎<sup>3</sup>, 広瀬 隆則<sup>4</sup>, 木村 文子<sup>1</sup>  
埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科<sup>1</sup>, 同消化器外科<sup>2</sup>, 同病理診断科<sup>3</sup>, 埼玉医科大学 病理学教室<sup>4</sup>

## 口 演 (6月19日)

### O-8 後腹膜solitary fibrous tumor (SFT) の2例

佐藤 陽介<sup>1</sup>, 小林 茂<sup>1</sup>, 木島 茂喜<sup>1</sup>, 坂本 敦子<sup>1</sup>, 竹内美砂子<sup>1</sup>, 木村有喜男<sup>1</sup>,  
杉本 英治<sup>1</sup>, 山口 岳彦<sup>2</sup>, 田中 亨<sup>2</sup>

自治医科大学付属病院 放射線科<sup>1</sup>, 自治医科大学付属病院 病理学<sup>2</sup>

### O-9 右後腹膜気管支原性嚢胞の1例

松久保祐子<sup>1</sup>, 桑原 雅知<sup>1</sup>, 下野 太郎<sup>1</sup>, 今岡いずみ<sup>1</sup>, 柳生 行伸<sup>1</sup>, 香川 祐毅<sup>1</sup>,  
安藤 理奈<sup>1</sup>, 栗生 明博<sup>1</sup>, 勝部 敬<sup>1</sup>, 米矢 吉宏<sup>2</sup>, 岡田 真広<sup>2</sup>, 土屋 典生<sup>2</sup>,  
熊野 正士<sup>1</sup>, 足利竜一郎<sup>1</sup>, 細野 真<sup>2</sup>, 村上 卓道<sup>1</sup>, 石川 原<sup>3</sup>, 中居 卓也<sup>3</sup>,  
前西 修<sup>4</sup>, 木村 雅友<sup>4</sup>

近畿大学医学部 放射線医学講座 放射線診断学部門<sup>1</sup>,

近畿大学高度先端総合医療センター PET 部門<sup>2</sup>, 近畿大学医学部 外科学教室<sup>3</sup>,

近畿大学医学部 病理学教室<sup>4</sup>

### O-10 骨盤内に発生したLipoblastomaの一例

榎殿文香理<sup>1</sup>, 野崎 太希<sup>1</sup>, 小林 信雄<sup>1</sup>, 負門 克典<sup>1</sup>, 齋田 幸久<sup>1</sup>, 真部 淳<sup>2</sup>,  
細谷 亮太<sup>2</sup>, 中村 晃子<sup>3</sup>, 平林 健<sup>3</sup>, 鈴木 高祐<sup>4</sup>

聖路加国際病院 放射線科<sup>1</sup>, 聖路加国際病院 小児科<sup>2</sup>, 聖路加国際病院 小児外科<sup>3</sup>,

聖路加国際病院 病理診断科<sup>4</sup>

約15分

休 憩

## 10:45~11:25 セッション3. 腸間膜・腹壁 (5題)

座 長 前田 哲雄(神戸大学医学部 放射線医学講座)

コメンテーター 柳井 広之(岡山大学病院 病理診断科/病理部)

### O-11 Retzius腔に発生したspindle cell lipomaの一例

塚部 明大, 保本 卓, 中田 早紀, 佐藤 正之

市立豊中病院 放射線科

### O-12 小腸間膜由来の巨大リンパ管腫の一例

村上 健司<sup>1</sup>, 児玉 芳尚<sup>1</sup>, 櫻井 康雄<sup>1</sup>, 福田 大記<sup>1</sup>, 池田 裕隆<sup>1</sup>, 駒場 福雄<sup>2</sup>,  
青木 敬則<sup>2</sup>, 大坪 真紀<sup>2</sup>, 志田 勇人<sup>2</sup>, 三井 慎也<sup>2</sup>, 野村 昌史<sup>2</sup>, 真口 宏介<sup>2</sup>,  
中村 文隆<sup>3</sup>, 篠原 敏也<sup>4</sup>

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 放射線科<sup>1</sup>, 同 消化器科<sup>2</sup>, 同 外科<sup>3</sup>, 同 病理診断科<sup>4</sup>

### O-13 比較的典型的な画像所見を呈したS状結腸癌術後発生の腸間膜線維腫症の一例

増川 愛<sup>1</sup>, 町田 治彦<sup>1</sup>, 鈴木 一史<sup>1</sup>, 森田 賢<sup>1</sup>, 藤村 幹彦<sup>1</sup>, 上野 恵子<sup>1</sup>,  
横溝 肇<sup>2</sup>, 吉松 和彦<sup>2</sup>, 小川 健治<sup>2</sup>, 藤林真理子<sup>3</sup>

東京女子医科大学東医療センター 放射線科<sup>1</sup>, 東京女子医科大学東医療センター 外科<sup>2</sup>,

東京女子医科大学東医療センター 病院病理科<sup>3</sup>

#### O-14 腸間膜のCastleman病に合併した二次性AAアミロイドーシスの一例

大内厚太郎, 松島 理士, 五十嵐隆朗, 蘆田 浩一, 川上 剛, 関谷 透, 福田 国彦  
東京慈恵会医科大学 放射線医学講座

#### O-15 腹壁内発生腫瘍の一例

松林(名本)路花<sup>1,2</sup>, 久富 栄子<sup>1,2</sup>, 原田 詩乃<sup>1,2</sup>, 黒岩 佳奈<sup>1,2</sup>, 安森弘太郎<sup>1</sup>, 村中 光<sup>3</sup>,  
池尻 公二<sup>4</sup>, 上杉 憲子<sup>5</sup>  
国立病院機構九州医療センター 放射線科<sup>1</sup>, 乳腺センター<sup>2</sup>, 臨床研究センター<sup>3</sup>, 外科<sup>4</sup>, 病理<sup>5</sup>

#### 11:25~12:05 基調講演 1 (スポンサードセミナー バイエル薬品株式会社)

座 長 吉野 正(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍病理)  
演 者 柳澤 昭夫(京都府立医科大学大学院 人体病理部)

『臍腫瘍—画像が組織診断に・組織像が画像診断に  
教えてくれること—』

#### 12:15~13:05 ランチョンセミナー 1 東芝メディカルシステムズ株式会社

座 長 三村 秀文(岡山大学大学院歯薬学総合研究科 放射線医学)  
演 者 吉川 武(神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線医学分野  
機能・画像診断学部門)

CT 『320列Area-Detector CTの体幹部における初期経験と可能性  
～腹部領域を中心として～』

演 者 伊東 克能(川崎医科大学 放射線医学画像診断)

MRA 『肝・胆・膵臓領域の機能・血流イメージング  
～非造影MRを中心に～』

#### 13:05~13:45 世話人会

#### 13:50~14:38 セッション 4. 子宮 (6題)

座 長 小山 貴(大阪赤十字病院 放射線科)  
コメンテーター 大石 善丈(九州大学病院 別府先進医療センター)

#### O-16 典型的なMRI所見と考えられた子宮体部腺肉腫の1例

加茂 実武<sup>1</sup>, 小野田 結<sup>1</sup>, 槇殿文香理<sup>1</sup>, 野崎 太希<sup>1</sup>, 田村 綾子<sup>1</sup>, 斎田 幸久<sup>1</sup>,  
松尾 義朋<sup>2</sup>, 鈴木 高祐<sup>3</sup>  
聖路加国際病院 放射線科<sup>1</sup>, イーサイトヘルスケア<sup>2</sup>, 聖路加国際病院 病理診断科<sup>3</sup>

#### O-17 子宮広間膜由来と考えられたMalignant mullerian mixed tumorの1例

杉原 良<sup>1</sup>, 前田 哲雄<sup>1</sup>, 大野 良治<sup>1</sup>, 杉村 和朗<sup>1</sup>, 森田 宏紀<sup>2</sup>, 伊藤 智雄<sup>3</sup>  
神戸大学医学部附属病院 放射線科<sup>1</sup>, 神戸大学医学部附属病院 産婦人科<sup>2</sup>,  
神戸大学医学部附属病院 病理部<sup>3</sup>

## 口 演 (6月19日)

### O-18 卵巣静脈内進展を来たした子宮内膜間質肉腫の1例—MRI・PET所見について

北島 一宏<sup>1</sup>, 山崎英玲奈<sup>2</sup>, 村上 康二<sup>2</sup>, 楢 靖<sup>1</sup>, 亀森 哲<sup>3</sup>, 深澤 一雄<sup>3</sup>,  
稲葉 憲之<sup>3</sup>, 本間 浩一<sup>4</sup>

獨協医科大学 放射線医学講座<sup>1</sup>, 獨協医科大学 PETセンター<sup>2</sup>, 獨協医科大学 産科婦人科学講座<sup>3</sup>,  
獨協医科大学 形態病理学講座<sup>4</sup>

### O-19 子宮原発Perivascular epithelioid cell tumor (PEComa) の2例

高橋 亜希<sup>1</sup>, 高濱 潤子<sup>2</sup>, 丸上 永晃<sup>2</sup>, 日高 晶子<sup>1</sup>, 丸上 永晃<sup>2</sup>, 武輪 恵<sup>3</sup>,  
伊藤 高広<sup>2</sup>, 北野 悟<sup>2</sup>, 阪口 浩<sup>1</sup>, 吉川 公彦<sup>2</sup>

奈良県立三室病院 放射線科<sup>1</sup>, 奈良県立医科大学 放射線科<sup>2</sup>, 平成記念病院 放射線科<sup>3</sup>

### O-20 子宮頸部最小偏奇性腺癌および体部・卵管に腺癌を併発した1例

山本 貴之<sup>1</sup>, 川原 清哉<sup>1</sup>, 竹田 太郎<sup>1</sup>, 山田 篤史<sup>1</sup>, 高橋 孝博<sup>1</sup>, 濱中大三郎<sup>1</sup>,  
小倉 昌和<sup>1</sup>, 左合 直<sup>1</sup>, 田嶋 公久<sup>2</sup>, 小山 貴<sup>3</sup>, 三上 芳喜<sup>4</sup>

福井赤十字病院 放射線科<sup>1</sup>, 福井赤十字病院 産婦人科<sup>2</sup>, 京都大学 医学部附属病院 放射線診断科<sup>3</sup>,  
京都大学 医学部附属病院 病理診断部<sup>4</sup>

### O-21 内方性発育を来たした為、原発巣の同定に苦慮した子宮頸部腺癌の一例

大野 文美<sup>1</sup>, 伊藤 剛<sup>1</sup>, 百々 俊樹<sup>1</sup>, 中島 諭<sup>1</sup>, 黒田 昌志<sup>1</sup>, 荒木 則雄<sup>1</sup>,  
山本 鉄郎<sup>2</sup>, 南口早智子<sup>2</sup>

国立病院機構京都医療センター 放射線科<sup>1</sup>, 国立病院機構京都医療センター 研究検査科病理<sup>2</sup>

---

## 14:38~15:18 セッション5. 卵巣-1 (5題)

座 長 松林(名本) 路花(国立病院機構 九州医療センター 放射線科)  
コメンテーター 大石 善丈(九州大学病院 別府先進医療センター)

### O-22 非典型的な画像所見を呈した卵巣明細胞腺癌の一例

岡島 由佳<sup>1</sup>, 中園 貴彦<sup>1</sup>, 入江 裕之<sup>1</sup>, 原 由紀子<sup>1</sup>, 元島 成信<sup>1</sup>, 山本 徒子<sup>2</sup>,  
横山 正俊<sup>2</sup>, 山口 健<sup>3</sup>, 山崎 文朗<sup>3</sup>, 工藤 祥<sup>1</sup>

佐賀大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 佐賀大学医学部 産婦人科<sup>2</sup>, 佐賀大学医学部附属病院 病理部<sup>3</sup>

### O-23 妊娠性卵巣絨毛癌の一例

北井 里実<sup>1</sup>, 成田 賢一<sup>1</sup>, 有泉 光子<sup>1</sup>, 福田 国彦<sup>1</sup>, 松本 隆万<sup>2</sup>, 高尾 美穂<sup>2</sup>,  
中山 順今<sup>3</sup>

東京慈恵会医科大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 東京慈恵会医科大学付属青戸病院 産婦人科<sup>2</sup>,  
東京慈恵会医科大学付属青戸病院 病院病理部<sup>3</sup>

### O-24 20歳女性に発症した外方発育する境界悪性粘液性腫瘍(内頸型)の一例

小野田 結<sup>1</sup>, 松尾 義朋<sup>3</sup>, 田村 綾子<sup>1</sup>, 加茂 実武<sup>1</sup>, 村石 懐<sup>1</sup>, 榎殿文香理<sup>1</sup>,  
野崎 太希<sup>1</sup>, 不破 相勲<sup>1</sup>, 鈴木 高祐<sup>2</sup>, 齋田 幸久<sup>1</sup>

聖路加国際病院 放射線科<sup>1</sup>, 聖路加国際病院 病理診断科<sup>2</sup>, イーサイトヘルスケア<sup>3</sup>

## O-25 境界悪性ミューラー管型粘液性腫瘍の合併を伴うポリープ状内膜症の一例

大堂 さやか<sup>1</sup>, 中井 朝子<sup>1</sup>, 小山 貴<sup>1</sup>, 八木 治彦<sup>2</sup>, 藤本 正数<sup>3</sup>, 三上 芳喜<sup>3</sup>,  
小西 郁生<sup>2</sup>, 富樫 かおり<sup>1</sup>

京都大学医学部附属病院 放射線医学教室<sup>1</sup>, 京都大学医学部附属病院 産婦人科<sup>2</sup>,  
京都大学医学部附属病院 病理診断部<sup>3</sup>

## O-26 卵巣原発のMullerian adenosarcomaの一例

亀井 律孝<sup>1</sup>, 小野 麻美<sup>1</sup>, 小松 栄二<sup>1</sup>, 前田 徹<sup>1</sup>, 嶺 真一郎<sup>2</sup>, 松本 英雄<sup>2</sup>,  
近藤 能行<sup>3</sup>, 卜部 省吾<sup>3</sup>, 本郷 哲央<sup>4</sup>, 松本 俊郎<sup>4</sup>, 森 宣<sup>4</sup>

大分県立病院 放射線科<sup>1</sup>, 大分県立病院 産婦人科<sup>2</sup>, 大分県立病院 臨床検査部<sup>3</sup>,  
大分大学医学部 臨床医学系 放射線医学講座<sup>4</sup>

約15分

休憩

## 15:30~16:10 セッション6. 卵巣-2 (5題)

座長 高濱 潤子(奈良県立医科大学 放射線医学教室)

コメンテーター 大石 善丈(九州大学病院 別府先進医療センター)

## O-27 骨盤部MRI診断を契機に合併していた甲状腺癌を術前診断可能であった卵巣甲状腺腫の1例

乗金 精一郎<sup>1</sup>, 上者 郁夫<sup>2</sup>, 佐藤 修平<sup>3</sup>, 奥村 能啓<sup>3</sup>, 井田 健太郎<sup>4</sup>, 笹井 信也<sup>4</sup>,  
加地 充昌<sup>4</sup>, 柳井 広之<sup>5</sup>, 金澤 右<sup>3</sup>

岡山労災病院 放射線科<sup>1</sup>, 岡山大学医学部 保健学科<sup>2</sup>, 岡山大学医学部 放射線科<sup>3</sup>,  
岡山画像診断センター<sup>4</sup>, 岡山大学病院 病理部<sup>5</sup>

## O-28 乳頭癌を合併した卵巣甲状腺腫の一例

崎元 芳大, 五十嵐 隆朗, 蘆田 浩一, 松島 理士, 川上 剛, 関谷 透, 福田 国彦  
東京慈恵会医科大学医学部 放射線医学講座

## O-29 腹部多発性上衣腫の一例

瀧口 紗世, 松島 理士, 蘆田 浩一, 五十嵐 隆朗, 川上 剛, 関谷 透, 福田 国彦  
東京慈恵会医科大学 放射線医学講座

## O-30 右卵巣近傍の結合組織に発生した平滑筋肉腫と直腸癌の重複悪性腫瘍の一例

中埜 良康<sup>1</sup>, 竹下 浩二<sup>1</sup>, 今村 哲夫<sup>2</sup>, 端山 軍<sup>3</sup>, 鈴木 滋<sup>1</sup>, 古井 滋<sup>1</sup>  
帝京大学医学部 放射線医学教室<sup>1</sup>, 帝京大学医学部 病理学教室<sup>2</sup>, 帝京大学医学部 外科学教室<sup>3</sup>

## O-31 Chemical shift imagingにおいて信号の変化が認められた莢膜細胞腫の一例

三森 天人<sup>1</sup>, 小林 誠<sup>1</sup>, 兵頭 剛<sup>1</sup>, 松原伸一郎<sup>1</sup>, 吉田 奈央<sup>2</sup>, 水谷 靖司<sup>2</sup>,  
赤松 信雄<sup>2</sup>, 藤澤 真義<sup>3</sup>, 上者 郁夫<sup>4</sup>, 金澤 右<sup>5</sup>

姫路赤十字病院 放射線科<sup>1</sup>, 姫路赤十字病院 産婦人科<sup>2</sup>, 姫路赤十字病院 病理<sup>3</sup>,  
岡山大学医学部 保健学科<sup>4</sup>, 岡山大学医学部 放射線科<sup>5</sup>

## 口 演 (6月19日)

16:10~16:50 セッション7. 尿道・精巣・その他 (5題)

座 長 松崎 健司(徳島大学医学部 放射線科)  
コメンテーター 大石 善丈(九州大学病院 別府先進医療センター)

### O-32 著明な腫進展をきたした尿道明細胞癌の一例

竹内麻由美<sup>1</sup>, 松崎 健司<sup>1</sup>, 西谷 弘<sup>1</sup>, 工藤 英治<sup>2</sup>, 中達 弘能<sup>3</sup>  
徳島大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 徳島大学医学部 人体病理<sup>2</sup>, 徳島大学医学部 泌尿器科<sup>3</sup>

### O-33 腫に発生し、多彩な転移を示したMalignant Granular Cell Tumorの1例

深谷 哲昭<sup>1</sup>, 川合 一茂<sup>2</sup>, 成高 和稔<sup>3</sup>, 久力 権<sup>4</sup>  
焼津市立総合病院 放射線科<sup>1</sup>, 焼津市立総合病院 外科<sup>2</sup>, 焼津市立総合病院 産婦人科<sup>3</sup>,  
焼津市立総合病院 病理科<sup>4</sup>

### O-34 アンドロゲン不応症に伴う両側精巣腫瘍

藪田 実<sup>1</sup>, 渡邊 祐司<sup>1</sup>, 奥村 明<sup>1</sup>, 永山 雅子<sup>1</sup>, 中野 覚<sup>1</sup>, 天羽 賢樹<sup>1</sup>,  
石守 崇好<sup>1</sup>, 中下 悟<sup>1</sup>, 牧 大介<sup>1</sup>, 市橋 成夫<sup>1</sup>, 坂田 千恵<sup>1</sup>, 池田 格<sup>1</sup>,  
有本 麻耶<sup>1</sup>, 廣瀬 瑞樹<sup>1</sup>, 河村 晃<sup>1</sup>, 山田 剛史<sup>1</sup>, 内野かおり<sup>2</sup>, 百々 義廣<sup>1</sup>  
倉敷中央病院 放射線科<sup>1</sup>, 倉敷中央病院 病理検査科<sup>2</sup>

### O-35 陰嚢内に発生したFocal bizarre leiomyomaの一例

近藤 哲矢<sup>1,2</sup>, 笹栗 弘平<sup>1,2</sup>, 渡辺 哲雄<sup>1</sup>, 清水 勅君<sup>1</sup>, 牧角 健司<sup>1</sup>, 梶原 哲郎<sup>1</sup>,  
尾畑 紘史<sup>3</sup>, 徳田 倫章<sup>3</sup>, 増田 正憲<sup>4</sup>, 森 大輔<sup>4</sup>, 工藤 祥<sup>2</sup>  
佐賀県立病院好生館 放射線科<sup>1</sup>, 佐賀大学医学部 放射線科<sup>2</sup>, 佐賀県立病院 泌尿器科<sup>3</sup>,  
佐賀県立病院 病理部<sup>4</sup>

### O-36 胎盤梗塞による重症胎児発育遅延：胎盤MRIと胎盤病理の対比

信澤 宏<sup>1</sup>, 後閑 武彦<sup>2</sup>, 白土なほ子<sup>3</sup>, 市塚 清健<sup>3</sup>, 岡井 崇<sup>3</sup>, 九島 巳樹<sup>4</sup>  
川崎幸病院 放射線科<sup>1</sup>, 昭和大 放<sup>2</sup>, 昭和大 産婦<sup>3</sup>, 昭和大病院 病院病理<sup>4</sup>

16:50~17:40 イブニングセミナー 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

座 長 本田 浩(九州大学大学院医学研究院 臨床放射線科学教室)  
演 者 内田 政史(久留米大学医学部 放射線医学教室)

『腹部、特に肝胆膵領域における256 slice CTの応用』

演 者 今井 裕(東海大学医学部 放射線科)

『MultiTransmit(新RF送信技術)による3T MRIでの腹部画像について』

17:40~18:25 ポスターディスカッション

18:30~ クイズ症例回答発表

## 口 演 (6月20日)

8:30~9:18 セッション8. 消化管 (6題)

座 長 笹井 信也(岡山画像診断センター)  
コメンテーター 藤原 恵(広島赤十字・原爆病院 病理部)

### O-37 乳腺浸潤性小葉癌の胃十二指腸転移の一例

門澤 秀一<sup>1</sup>, 鷺尾 哲郎<sup>1</sup>, 埴岡 啓介<sup>2</sup>, 藤木 博<sup>3</sup>, 安岡 利恵<sup>3</sup>, 満尾 学<sup>3</sup>,  
門谷 洋一<sup>3</sup>

明石市立市民病院 放射線科<sup>1</sup>, 明石市立市民病院 臨床検査科病理<sup>2</sup>, 明石市立市民病院 外科<sup>3</sup>

### O-38 粘液癌と鑑別を要した胃Cystic Dystrophy of Heterotopic Pancreasの1例

佐藤 英樹<sup>1</sup>, 森 健作<sup>1</sup>, 大倉 直樹<sup>1</sup>, 東野英利子<sup>1</sup>, 南 学<sup>1</sup>, 米山 智<sup>2</sup>,  
稲川 智<sup>2</sup>, 森脇 俊和<sup>3</sup>, 菅野 雅人<sup>4</sup>, 長田 道夫<sup>4</sup>

筑波大学付属病院 放射線科<sup>1</sup>, 筑波大学付属病院 消化器外科<sup>2</sup>, 筑波大学付属病院 消化器内科<sup>3</sup>,  
筑波大学付属病院 病理部<sup>4</sup>

### O-39 虫垂炎術後の遺残虫垂尖部から発生した粘液癌による後腹膜偽粘液腫の一例

竹永 晋介<sup>1</sup>, 五十嵐隆朗<sup>1</sup>, 蘆田 浩一<sup>1</sup>, 松島 理士<sup>1</sup>, 川上 剛<sup>1</sup>, 関谷 透<sup>1</sup>,  
福田 国彦<sup>1</sup>, 池上 雅博<sup>2</sup>

東京慈恵会医科大学 放射線医学講座<sup>1</sup>, 東京慈恵会医科大学 病理学講座<sup>2</sup>

### O-40 術前診断が困難であったGISTの2例

中本 篤, 金 東石, 堀 雅敏, 大西 裕満, 坪山 尚寛, 中矢 泰裕, 東原 大樹,  
前田 登, 巽 光朗, 大須賀慶悟, 友田 要, 中村 仁信

大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学講座

### O-41 管外発育型を呈した直腸間質腫瘍(GIST)の一例

宮寄 俊幸<sup>1</sup>, 前原 史明<sup>1</sup>, 不破 功<sup>2</sup>, 榊田 裕士<sup>3</sup>, 大河原 進<sup>4</sup>

荒尾市民病院 放射線科<sup>1</sup>, 荒尾市民病院 脳外科<sup>2</sup>, 荒尾市民病院 泌尿器科<sup>3</sup>, 荒尾市民病院 臨床病理<sup>4</sup>

### O-42 巨大腫瘤を形成し、局在診断が困難であった乳児奇形腫の一例

山田 隆之<sup>1</sup>, 森 菜緒子<sup>1</sup>, 津田 雅視<sup>1</sup>, 奥本 忠之<sup>1</sup>, 高橋 昭喜<sup>1,2</sup>, 渡辺 みか<sup>2</sup>,  
中村 保宏<sup>2</sup>, 風間 理郎<sup>3</sup>

東北大学 放射線診断科<sup>1</sup>, 東北大学 病理部<sup>2</sup>, 東北大学 小児外科<sup>3</sup>

9:18~10:06 セッション9. 膵-1 (6題)

座 長 山田 有則(旭川医科大学 放射線科)  
コメンテーター 藤原 恵(広島赤十字・原爆病院 病理部)

### O-43 コレステロール結晶塞栓症(CCE)による胃、脾、膵のガス置換性壊死の一例

和田 紹美<sup>1</sup>, 進藤美智子<sup>2</sup>, 小幡 史郎<sup>3</sup>, 上谷 雅孝<sup>1</sup>, 平 克博<sup>4</sup>, 堤 竜二<sup>5</sup>,  
林 徳真吉<sup>6</sup>

長崎大学医学部歯学部附属病院 放射線科<sup>1</sup>, 長崎市立市民病院 放射線科<sup>2</sup>,  
長崎県立島原病院 放射線科<sup>3</sup>, 公立新小浜病院 外科<sup>4</sup>, 長崎県立島原病院 外科<sup>5</sup>,  
長崎大学医学部歯学部附属病院 病理部<sup>6</sup>

## 口 演 (6月20日)

### O-44 胃、胆管に膵管の穿通を来した、IPMN由来浸潤癌の一例

児玉 芳尚<sup>1</sup>, 櫻井 康雄<sup>1</sup>, 福田 大記<sup>1</sup>, 村上 健司<sup>1</sup>, 池田 裕隆<sup>1</sup>, 高橋 邦幸<sup>2</sup>,  
金 俊文<sup>2</sup>, 栗田 亮<sup>2</sup>, 一箭 珠貴<sup>2</sup>, 深澤 光晴<sup>2</sup>, 小山内 学<sup>2</sup>, 湯沼 朗生<sup>2</sup>,  
真口 宏介<sup>2</sup>, 安保 義恭<sup>3</sup>, 岸田 明博<sup>3</sup>, 中村 透<sup>3</sup>, 篠原 敏也<sup>4</sup>

手稲溪仁会病院 放射線科<sup>1</sup>, 手稲溪仁会病院 消化器科<sup>2</sup>, 手稲溪仁会病院 外科<sup>3</sup>,  
手稲溪仁会病院 病理診断科<sup>4</sup>

### O-45 IPMN由来と考えられた破骨細胞様巨細胞を伴った膵未分化癌の1例

高司 亮<sup>1</sup>, 山田 康成<sup>1</sup>, 松本 俊郎<sup>1</sup>, 本郷 哲央<sup>1</sup>, 森 宣<sup>1</sup>, 泥谷 直樹<sup>2</sup>,  
守山 正胤<sup>2</sup>, 柴田 浩平<sup>3</sup>, 太田 正之<sup>3</sup>, 北野 正剛<sup>3</sup>

大分大学医学部 放射線医学講座<sup>1</sup>, 大分大学医学部 分子病理学講座<sup>2</sup>,  
大分大学医学部 総合外科学第一講座<sup>3</sup>

### O-46 膵未分化癌の1例

山田 有則<sup>1</sup>, 高橋 康二<sup>1</sup>, 長沢 研一<sup>1</sup>, 稲岡 努<sup>1</sup>, 平沼 初音<sup>1</sup>, 八巻 利弘<sup>1</sup>,  
渡邊 尚史<sup>1</sup>, 高田 陽子<sup>1</sup>, 中山 理寛<sup>1</sup>, 村田 理恵<sup>1</sup>, 高林江里子<sup>1</sup>, 小林 圭吾<sup>1</sup>,  
小田島正幸<sup>1</sup>, 油野 民雄<sup>1</sup>, 徳佐 良彦<sup>2</sup>

旭川医科大学 放射線科<sup>1</sup>, 旭川医科大学 病理部<sup>2</sup>

### O-47 経過観察中に遅延性濃染が出現し、内部に間質豊富な部分のみられた膵島腫瘍の1例

加村 毅<sup>1</sup>, 角田 和彦<sup>2</sup>, 佐藤 攻<sup>2</sup>, 森 茂紀<sup>3</sup>, 木村 格平<sup>4</sup>

信楽園病院 放射線科<sup>1</sup>, 信楽園病院 外科<sup>2</sup>, 信楽園病院 内科<sup>3</sup>, 信楽園病院 病理<sup>4</sup>

### O-48 膵漿液性嚢胞腺腫の1例

森阪 裕之<sup>1</sup>, 中島 寛人<sup>1</sup>, 佐野 勝廣<sup>2</sup>, 市川 智章<sup>2</sup>, 荒木 力<sup>2</sup>, 小山 敏雄<sup>3</sup>

山梨県立中央病院 放射線部<sup>1</sup>, 山梨大学医学部 放射線科<sup>2</sup>, 山梨県立中央病院 病理部<sup>3</sup>

---

## 10:06~10:16 展示出展プレゼンテーション

座 長 郷原 英夫(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学)

発表1 株式会社AZE

発表2 ピー・エス・ピー株式会社

---

約15分

休 憩

---

## 10:30~11:10 基調講演2 (スポンサードセミナー バイエル薬品株式会社)

座 長 金澤 右(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学)

演 者 八木 孝仁(岡山大学病院 肝胆膵外科)

『肝胆膵領域の手術の限界』

11:10~11:58 セッション 10. 脾-2 (6題)

座 長 前谷 洋爾(メディカルITコンサルティング)  
コメンテーター 藤原 恵(広島赤十字・原爆病院 病理部)

**O-49 脾solitary fibrous tumorの1例**

菅原 敬文<sup>1</sup>, 城戸 倫之<sup>1</sup>, 井上 武<sup>1</sup>, 酒井 伸也<sup>1</sup>, 高橋 忠章<sup>1</sup>, 青野 祥司<sup>1</sup>,  
仙波 貴敏<sup>1</sup>, 小田 尚吾<sup>1</sup>, 上津孝太郎<sup>1</sup>, 濱本 泰<sup>1</sup>, 片岡 正明<sup>1</sup>, 大田 耕司<sup>2</sup>,  
棚田 稔<sup>2</sup>, 寺本 典弘<sup>3</sup>, 西村理恵子<sup>3</sup>  
四国がんセンター 放射線科<sup>1</sup>, 四国がんセンター 消化器外科<sup>2</sup>, 四国がんセンター 病理科<sup>3</sup>

**O-50 脾癌、胆管癌を合併した自己免疫性脾炎の1例**

福永浩太郎<sup>1</sup>, 亀山 麗子<sup>1</sup>, 室田真希子<sup>1</sup>, 内ノ村 聡<sup>1</sup>, 木村 成秀<sup>1</sup>, 山本 由香<sup>1</sup>,  
外山 芳弘<sup>1</sup>, 西山 佳宏<sup>1</sup>, 宮井 由美<sup>2</sup>, 串田 吉生<sup>2</sup>, 羽場 礼次<sup>2</sup>, 児島 完治<sup>3</sup>  
香川大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 香川大学医学部附属病院 病理部<sup>2</sup>, キナシ大林病院 放射線科・画像診断科<sup>3</sup>

**O-51 脾癌との鑑別が困難であった脾周囲炎症性肉芽腫性リンパ節炎の一例**

丸野美由希<sup>1</sup>, 渡邊 征典<sup>1</sup>, 高木 一<sup>1</sup>, 渡邊 公紀<sup>2</sup>, 福澤 謙吾<sup>2</sup>, 米増 博俊<sup>3</sup>,  
松本 俊郎<sup>4</sup>, 森 宣<sup>4</sup>  
大分赤十字病院 放射線科<sup>1</sup>, 大分赤十字病院 外科<sup>2</sup>, 大分赤十字病院 病理診断科<sup>3</sup>,  
大分大学医学部 臨床医学系 放射線医学講座<sup>4</sup>

**O-52 脾発生Ewing's sarcoma family tumor (ESFT) の一例**

佐野 優子<sup>1</sup>, 後藤真理子<sup>1</sup>, 結縁 幸子<sup>1</sup>, 西村 恒彦<sup>1</sup>, 土屋 邦彦<sup>2</sup>, 細井 創<sup>2</sup>,  
小西 英一<sup>3</sup>  
京都府立医科大学 大学院医学研究科 放射線診断治療学教室<sup>1</sup>, 京都府立医科大学 小児科学教室<sup>2</sup>,  
京都府立医科大学 病理部<sup>3</sup>

**O-53 脾のEnteric duplication cystの1例**

太田 尚寿<sup>1</sup>, 鈴木耕次郎<sup>1</sup>, 森 芳峰<sup>1</sup>, 長縄 慎二<sup>1</sup>, 伊藤 茂樹<sup>2</sup>, 竹田 伸<sup>3</sup>,  
島田 聡子<sup>4</sup>  
名古屋大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 名古屋大学医学部 保健学科<sup>2</sup>, 名古屋大学医学部 消化器外科<sup>2</sup>,  
名古屋大学医学部 中検病理<sup>4</sup>

**O-54 脾嚢胞性腫瘍と鑑別が困難であった後腹膜脂肪肉腫の一例**

新井 花江<sup>1</sup>, 影山 淳一<sup>1</sup>, 三谷 昌弘<sup>1</sup>, 母里 淑子<sup>2</sup>, 國土 泰孝<sup>2</sup>, 溝渕 光一<sup>3</sup>  
香川労災病院 放射線科<sup>1</sup>, 香川労災病院 外科<sup>2</sup>, 香川労災病院 病理検査室<sup>3</sup>

12:10~13:00 ランチョンセミナー 2 シーメンス旭メディテック株式会社

座 長 角谷 眞澄(信州大学医学部 画像医学講座)  
演 者 Sung Eun Rha  
(The Catholic University of Korea, College of Medicine,  
Seoul st. Mary's Hospital)

『Abdominal and Pelvic MRI @ 3T System』

## 口 演（6月20日）

13:00～13:30 打田賞受賞講演・表彰

---

表 彰 打田日出夫  
司 会 松井 修

消 化 器

「DIC にて発症した巨大Isolated Splenic Peliosis の一例」

東京都立府中病院 放射線科 竹内 均

泌尿・生殖器

「卵巢線維腫症の一例」

徳島大学医学部 放射線科 竹内麻由美

展示（消化器部門）

「SLE に合併した肝結節性再生性過形成  
(nodular regenerative hyperplasia) の一例」

滋賀医科大学 放射線科 外山 哲也

「膵管内管状腫瘍2例の画像所見」

九州大学大学院医学研究院 臨床放射線科学 石神 康生

展示（泌尿・生殖器部門）

「下大静脈腫瘍塞栓を合併した腎血管筋脂肪腫の1例」

長崎大学病院 放射線科 筒井 伸

---

13:30～13:50 事務局報告

---

座 長 藤永 康成(信州大学医学部附属病院 放射線科)  
コメンテーター 大原 信哉(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍病理)

**O-55 胆嚢に生じたMixed endocrine-exocrine carcinomaの1例**

藤原 寛康, 鶴崎 正勝, 祖父江慶太郎, 荒井 保明, 阪本 良弘, 平岡 伸介  
国立がんセンター中央病院

**O-56 肝門部神経鞘腫の1例**

原 由紀子<sup>1</sup>, 江頭 秀哲<sup>1</sup>, 入江 裕之<sup>1</sup>, 野尻 淳一<sup>1</sup>, 蒲地 紀之<sup>1</sup>, 西原 正志<sup>1</sup>,  
工藤 祥<sup>1</sup>, 北原 賢二<sup>2</sup>, 神谷 尚彦<sup>2</sup>, 宮崎 耕治<sup>2</sup>, 甲斐 敬太<sup>3</sup>  
佐賀大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 佐賀大学医学部 一般・消化器外科<sup>2</sup>, 佐賀大学医学部 病理部<sup>3</sup>

**O-57 巨大肝腫瘍として認められた胆管内乳頭状腺癌の1例**

河野 淳<sup>1</sup>, 前田 哲雄<sup>1</sup>, 吉川 武<sup>1</sup>, 岡田 卓也<sup>1</sup>, 伊崎 健太<sup>1</sup>, 大野 良治<sup>1</sup>,  
藤井 正彦<sup>1</sup>, 杉村 和朗<sup>1</sup>, 村松三四郎<sup>2</sup>, 具 英成<sup>2</sup>, 伊藤 智雄<sup>3</sup>  
神戸大学医学部 放射線医学講座<sup>1</sup>, 神戸大学医学部 外科学講座肝胆膵外科学<sup>2</sup>,  
神戸大学医学部 病理学講座病理診断学<sup>3</sup>

**O-58 極めて稀な胆嚢管悪性リンパ腫の一例**

古川 智子<sup>1</sup>, 山田 哲<sup>1</sup>, 渡辺 智治<sup>1</sup>, 黒住 昌弘<sup>1</sup>, 金子 智喜<sup>1</sup>, 藤永 康成<sup>1</sup>,  
上田 和彦<sup>1</sup>, 角谷 眞澄<sup>1</sup>, 張 淑美<sup>2</sup>, 浜野 英明<sup>2</sup>, 新倉 則和<sup>2</sup>, 内川 裕司<sup>3</sup>,  
中田 岳成<sup>3</sup>, 三輪 史郎<sup>3</sup>, 宮川 眞一<sup>3</sup>, 遠藤 真紀<sup>4</sup>, 福島 万奈<sup>4</sup>  
信州大学医学部附属病院 放射線科<sup>1</sup>, 信州大学医学部附属病院 消化器内科<sup>2</sup>,  
信州大学医学部附属病院 消化器外科<sup>3</sup>, 信州大学医学部附属病院 臨床検査部<sup>4</sup>

**O-59 黄疸が発見契機となった粘液産生胆管腫瘍の1例**

長川 達哉<sup>1</sup>, 志谷 真啓<sup>1</sup>, 宮川 宏之<sup>1</sup>, 平山 敦<sup>1</sup>, 松永 隆裕<sup>1</sup>, 岡村 圭也<sup>1</sup>,  
長谷川 貴<sup>2</sup>, 西野 茂夫<sup>2</sup>, 石津 寛之<sup>3</sup>, 岡田 邦明<sup>3</sup>, 近藤 征文<sup>3</sup>, 後藤田裕子<sup>4</sup>,  
村岡 俊二<sup>4</sup>  
J A 北海道厚生連 札幌厚生病院 第2消化器科<sup>1</sup>, J A 北海道厚生連 札幌厚生病院 放射線科<sup>2</sup>,  
J A 北海道厚生連 札幌厚生病院 外科<sup>3</sup>, J A 北海道厚生連 札幌厚生病院 臨床病理科<sup>4</sup>

約15分

休 憩

## 口 演 (6月20日)

14:45~15:33 セッション 12. 肝 (6題)

座 長 小林 聡(金沢大学医学部 放射線科)  
コメンテーター 大原 信哉(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍病理)

### O-60 Osler-Weber-Rendu病を背景にして辺縁にEOB取込みを認めた結節の一例

渡邊 春夫<sup>1</sup>, 五島 聡<sup>1</sup>, 近藤 浩史<sup>1</sup>, 柘植 裕介<sup>1</sup>, 兼松 雅之<sup>2,3</sup>  
岐阜大学医学部附属病院 放射線科<sup>1</sup>, 岐阜大学医学部附属病院 高次画像診断センター<sup>2</sup>,  
岐阜大学医学部附属病院 放射線部<sup>3</sup>

### O-61 EOB・プリモビスト造影MRIの肝細胞造影相において明瞭な集積を認めた肝細胞癌の1例

中山 理寛<sup>1</sup>, 山田 有則<sup>1</sup>, 高橋 康二<sup>1</sup>, 長沢 研一<sup>1</sup>, 稲岡 努<sup>1</sup>, 平沼 初音<sup>1</sup>,  
八巻 利弘<sup>1</sup>, 渡辺 尚史<sup>1</sup>, 高田 陽子<sup>1</sup>, 村田 理恵<sup>1</sup>, 高林江里子<sup>1</sup>, 小林 圭吾<sup>1</sup>,  
小田島正幸<sup>1</sup>, 油野 民雄<sup>1</sup>, 徳差 良彦<sup>2</sup>  
旭川医科大学 放射線科<sup>1</sup>, 旭川医科大学 病理部<sup>2</sup>

### O-62 Gd-EOB-DTPA造影MRIを施行した肝細胞腺腫の一例

高良 憲一<sup>1</sup>, 齋藤 和博<sup>1</sup>, 柿崎 大<sup>1</sup>, 野村 将春<sup>2</sup>, 長尾 俊孝<sup>2</sup>, 今井 康晴<sup>3</sup>,  
平良 淳一<sup>3</sup>, 森安 史典<sup>3</sup>, 内海 裕也<sup>4</sup>, 徳植 公一<sup>1</sup>  
東京医科大学 放射線医学教室<sup>1</sup>, 東京医科大学病院 病理診断部<sup>2</sup>, 東京医科大学病院 消化器内科<sup>3</sup>,  
東京医科大学病院 神経内科<sup>4</sup>

### O-63 糖原病1型に合併した多発肝腺腫の1例

林 秀行<sup>1</sup>, 和田 紹美<sup>1</sup>, 坂本 一郎<sup>1</sup>, 磯本 一郎<sup>1</sup>, 上谷 雅孝<sup>1</sup>, 蒲原 行雄<sup>2</sup>,  
奥平 定之<sup>2</sup>, 江口 晋<sup>2</sup>, 高槻 光寿<sup>2</sup>, 兼松 隆之<sup>2</sup>, 藤富 真吾<sup>3</sup>, 宮明 寿光<sup>3</sup>,  
市川 辰樹<sup>3</sup>, 中尾 一彦<sup>3</sup>, 安倍 邦子<sup>4</sup>, 林 洋子<sup>4</sup>, 林 徳真吉<sup>4</sup>  
長崎大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 長崎大学医学部 第2外科<sup>2</sup>, 長崎大学医学部 第1内科<sup>3</sup>,  
長崎大学医学部 第1病理<sup>4</sup>

### O-64 多発AP shuntを呈した膵癌からの顕微鏡的微小肝転移切除の1例

蒲田 敏文, 小林 聡, 眞田順一郎, 香田 渉, 南 哲弥, 松井 修  
金沢大医学部 放射線科

### O-65 肝動注リザーバーよりの5-FU動注により肝十二指腸間膜脂肪織炎が出現した1例

伊藤 悟志, 片岡 優子, 八尋 孔幸, 山西 伴明, 村田 和子, 濱田 典彦, 久保田 敬,  
西岡 明人, 小川 恭弘  
高知大学医学部 放射線科

15:33~16:21 セッション 13. 肝・脾 (6題)

座 長 赤羽 正章(東京大学医学部附属病院 放射線科)

コメンテーター 大原 信哉(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍病理)

**O-66 脾臓の外傷や手術歴のないintrahepatic splenic tissueの1例**

田辺 昌寛<sup>1</sup>, 沖本 智昭<sup>1</sup>, 中坪 幸子<sup>1</sup>, 鷺田 康雄<sup>1</sup>, 藤田 岳史<sup>1</sup>, 松永 尚文<sup>1</sup>,  
坂本 和彦<sup>2</sup>, 権藤 俊一<sup>3</sup>

山口大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 山口大学医学部 消化器腫瘍外科<sup>2</sup>, 山口大学医学部 病理部<sup>3</sup>

**O-67 膵内分泌腫瘍の肝転移と鑑別困難であった肝炎症性腫瘍の1例**

佐野 勝廣<sup>1</sup>, 曹 博信<sup>1</sup>, 本杉宇太郎<sup>1</sup>, 市川 智章<sup>1</sup>, 荒木 力<sup>1</sup>, 板倉 淳<sup>2</sup>,  
川井田博充<sup>2</sup>, 藤井 秀樹<sup>2</sup>, 中澤 匡男<sup>3</sup>

山梨大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 山梨大学医学部 第一外科<sup>2</sup>, 山梨大学医学部 人体病理学<sup>3</sup>

**O-68 肝 reactive lymphoid hyperplasiaの一例**

池田 裕隆<sup>1</sup>, 児玉 芳尚<sup>1</sup>, 桜井 康雄<sup>1</sup>, 福田 大記<sup>1</sup>, 村上 健司<sup>1</sup>, 松居 剛志<sup>2</sup>,  
駒場 福雄<sup>2</sup>, 矢根 圭<sup>2</sup>, 西森 博幸<sup>2</sup>, 姜 貞憲<sup>2</sup>, 辻 邦彦<sup>2</sup>, 真口 宏介<sup>2</sup>,  
篠原 敏也<sup>3</sup>

手稲溪仁会病院 放射線科<sup>1</sup>, 手稲溪仁会病院 消化器病センター<sup>2</sup>, 手稲溪仁会病院 病理科<sup>3</sup>

**O-69 診断に難渋した肝悪性リンパ腫の一例**

木口 佳代<sup>1</sup>, 橋本真理子<sup>1</sup>, 芝田 豊通<sup>1</sup>, 上田 浩之<sup>1</sup>, 伊藤 亨<sup>1</sup>, 占野 尚人<sup>2</sup>,  
今井 幸弘<sup>3</sup>

神戸市立医療センター中央市民病院 画像診断・放射線治療科<sup>1</sup>,

神戸市立医療センター中央市民病院 消化器内科<sup>2</sup>, 神戸市立医療センター中央市民病院 臨床病理科<sup>3</sup>

**O-70 単発性の肝類上皮性血管内皮腫の一例**

百々 俊樹, 伊藤 剛, 大野 文美, 中島 諭, 黒田 昌志, 荒木 則雄

国立病院機構京都医療センター 放射線科

**O-71 肝臓および脾臓に多発腫瘍を呈した組織球肉腫の1例**

兵頭 朋子<sup>1</sup>, 平田 雅昭<sup>1</sup>, 村上 正哲<sup>1</sup>, 津田 孝治<sup>1</sup>, 廣岡 昌史<sup>2</sup>, 山本 安則<sup>2</sup>,  
日浅 陽一<sup>2</sup>, 恩地 森一<sup>2</sup>, 望月 輝一<sup>1</sup>

愛媛大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 愛媛大学医学部 内科学第三教室<sup>2</sup>

16:21~

閉会の挨拶

## ポスターディスカッション 1

座 長 山本 和宏(大阪医科大学 放射線医学教室)

### P-1 隔壁をはさんで異なる画像所見を示した多結節癒合型の中分化型肝細胞癌の1例

山本 和宏, 結城 雅子, 赤木 弘之, 有本 博, 鳴海 善文

大阪医科大学 放射線医学教室

### P-2 肉腫様肝細胞癌の1例

本田 理<sup>1</sup>, 乗金精一郎<sup>1</sup>, 坂本 秀登<sup>1</sup>, 山本 博道<sup>1</sup>, 佐藤 恭子<sup>2</sup>, 田口 孝爾<sup>3</sup>,  
金澤 右<sup>4</sup>

岡山労災病院 放射線科<sup>1</sup>, 岡山労災病院 内科<sup>2</sup>, 岡山労災病院 病理<sup>3</sup>,

岡山大学大学院医歯薬総合研究科 放射線医学<sup>4</sup>

### P-3 急性妊娠性脂肪肝と考えられた1例

大山 嘉将<sup>1</sup>, 脇本 哲<sup>2</sup>, 坪内 弘明<sup>2</sup>, 早田 憲司<sup>2</sup>, 今井 史郎<sup>2</sup>

愛染橋病院 放射線科<sup>1</sup>, 愛染橋病院 産婦人科<sup>2</sup>

### P-4 グリソン鞘に沿った腫瘍と凝固壊死を伴った腫瘍部分を認めた肝悪性リンパ腫の1例

金澤 秀次<sup>1</sup>, 松木 充<sup>1</sup>, 稲田 悠紀<sup>1</sup>, 中井 豪<sup>1</sup>, 結城 雅子<sup>1</sup>, 鳴海 善文<sup>1</sup>,  
辻 求<sup>2</sup>

大阪医科大学 放射線科学教室<sup>1</sup>, 大阪医科大学 第2病理学教室<sup>2</sup>

### P-5 胃GIST術後11年目に肝転移を認めた1例

北山 聡明<sup>1</sup>, 上ノ山直人<sup>2</sup>, 土井 喜宣<sup>2</sup>, 西林 宏之<sup>2</sup>, 古川 健太<sup>3</sup>, 中場 寛行<sup>3</sup>,  
松崎佐恵子<sup>1</sup>, 有馬 良一<sup>4</sup>

大手前病院 放射線科<sup>1</sup>, 大手前病院 消化器内科<sup>2</sup>, 大手前病院 外科<sup>3</sup>, 大手前病院 病理<sup>4</sup>

### P-6 肝原発扁平上皮癌の1例

土江 洋二<sup>1</sup>, 林 貴史<sup>1</sup>, 吉廻 毅<sup>1</sup>, 中村 恩<sup>1</sup>, 岡田 成人<sup>1</sup>, 北垣 一<sup>1</sup>,  
石川 典由<sup>2</sup>, 丸山理留敬<sup>2</sup>

島根大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 島根大学 病理部<sup>2</sup>

### P-7 肝原発の神経鞘腫の一例

加藤 聡<sup>1</sup>, 佐野 勝廣<sup>1</sup>, 岡田 大樹<sup>1</sup>, 曹 博信<sup>1</sup>, 市川 智章<sup>1</sup>, 荒木 力<sup>1</sup>,  
宮田 和幸<sup>2</sup>

山梨大学 放射線科<sup>1</sup>, 市立甲府病院 病理診断科<sup>2</sup>

### P-8 肝臓solitary fibrous tumorの一例

山口健一郎<sup>1</sup>, 阿部 太郎<sup>1</sup>, 村中 貴浩<sup>1</sup>, 藤本 正樹<sup>1</sup>, 押方 慎弥<sup>1</sup>, 松岡勇二郎<sup>1</sup>,  
山田 浩己<sup>1</sup>, 木梨 孝則<sup>2</sup>, 上田 祐磁<sup>2</sup>, 島尾 義也<sup>3</sup>

宮崎県立宮崎病院 放射線科<sup>1</sup>, 宮崎県立宮崎病院 外科<sup>2</sup>, 宮崎県立宮崎病院 病理科<sup>3</sup>

## ポスターディスカッション 2

座 長 笹井 信也(岡山画像診断センター)

### P-9 多発肝腫瘍として発見されたKaposi肉腫の1例

柿手 卓<sup>1</sup>, 藤井 進也<sup>1</sup>, 金崎 佳子<sup>1</sup>, 松末 英司<sup>1</sup>, 神納 敏夫<sup>1</sup>, 小川 敏英<sup>1</sup>,  
植木 賢<sup>2</sup>

鳥取大学医学部 病態解析医学講座 医用放射線学分野<sup>1</sup>,  
鳥取大学医学部 統合内科医学講座 機能病態内科学分野<sup>2</sup>

### P-10 直腸癌の合併が認められたガス産生性肝膿瘍の一例

上條 謙<sup>1</sup>, 岡本 英明<sup>1</sup>, 佐伯 光明<sup>1</sup>, 風間 暁男<sup>2</sup>

相模原協同病院 放射線科<sup>1</sup>, 相模原協同病院 病理診断部<sup>2</sup>

### P-11 肝腫瘍及び腎病変を契機に診断されたIgG4関連疾患の一例

井上 大<sup>1</sup>, 南 哲弥<sup>1</sup>, 香田 渉<sup>1</sup>, 蒲田 敏文<sup>1</sup>, 松井 修<sup>1</sup>, 全 陽<sup>2</sup>,  
川野 充弘<sup>3</sup>, 瀧 圭一<sup>4</sup>

金沢大学 放射線科<sup>1</sup>, 金沢大学病院 病理部<sup>2</sup>, 金沢大学 リウマチ内科<sup>3</sup>, 加賀市民病院 放射線科<sup>4</sup>

### P-12 IgG4関連硬化性胆管炎の一例

笹井 信也<sup>1</sup>, 井田健太郎<sup>1</sup>, 加地 充昌<sup>1</sup>, 金澤 右<sup>2</sup>

岡山画像診断センター<sup>1</sup>, 岡山大学放射線科<sup>2</sup>

### P-13 Bouveret's syndromeの一例

西田 卓郎<sup>1</sup>, 澤田 敏<sup>2</sup>, 竹尾 元裕<sup>3</sup>

関西医大 男山病院 放射線科<sup>1</sup>, 関西医科大学 枚方病院 放射線科<sup>2</sup>, 関西医大 男山病院 内科<sup>3</sup>

### P-14 3T MRIが有用であった胆嚢管癌の一例

廣瀬 靖光<sup>1</sup>, 有川 俊二<sup>1</sup>, 内田 政史<sup>1</sup>, 角 明子<sup>1</sup>, 久能由記子<sup>1</sup>, 魚住 淳<sup>1</sup>,  
早瀬 尚文<sup>1</sup>, 石田 祐介<sup>2</sup>, 加治 亮平<sup>2</sup>, 岡部 義信<sup>2</sup>, 石川 博人<sup>3</sup>, 木下 壽文<sup>3</sup>,  
安元真希子<sup>4</sup>

久留米大学 放科<sup>1</sup>, 同 消化器内科<sup>2</sup>, 同 外科<sup>3</sup>, 同 病理<sup>4</sup>

### P-15 好酸球性胆管炎の1例

白杵 則朗<sup>1</sup>, 豊島 正実<sup>1</sup>, 三上 栄<sup>2</sup>, 勝山 栄治<sup>3</sup>

神戸市立医療センター西市民病院 放射線科<sup>1</sup>, 神戸市立医療センター西市民病院 消化器内科<sup>2</sup>,  
神戸市立医療センター西市民病院 臨床病理<sup>3</sup>

### P-16 胆嚢壁と膵頭部に病変を有し胆嚢原発と考えられた小細胞癌(神経内分泌細胞癌)の一例

川田 秀一<sup>1</sup>, 岩田 美郎<sup>1</sup>, 大瀧 誠<sup>1</sup>, 石井 正紀<sup>2</sup>, 木勢 佳史<sup>2</sup>, 大谷 泰雄<sup>2</sup>,  
佐藤 慎吉<sup>3</sup>

東海大学医学部附属大磯病院 放射線科<sup>1</sup>, 東海大学医学部附属大磯病院 消化器外科<sup>2</sup>,  
東海大学医学部附属大磯病院 病理診断科<sup>3</sup>

## ポスターディスカッション 3

座 長 曹 博信(山梨大学医学部 放射線科)

### P-17 若年男性に発症した肝門部胆管原発の明細胞腺癌の一例

山室 博<sup>1</sup>, 山下 智裕<sup>1</sup>, 長島 礼奈<sup>1</sup>, 市川 珠紀<sup>1</sup>, 平林 健一<sup>2</sup>, 堂脇 昌一<sup>3</sup>,  
飛田 浩輔<sup>3</sup>, 今泉 俊秀<sup>3</sup>, 今井 裕<sup>1</sup>  
東海大学医学部 基盤診療学系 画像診断学<sup>1</sup>, 基盤診療学系 病理診断学<sup>2</sup>, 外科学系 消化器外科学<sup>3</sup>

### P-18 FDG PETにて異常集積を指摘しえたIgG4関連硬化性疾患の1例

小山 孝一<sup>1</sup>, 新川 寛二<sup>2</sup>, 竹村 茂一<sup>2</sup>, 竹下 徹<sup>1</sup>, 山本 晃<sup>1</sup>, 瀬浦 宏崇<sup>1</sup>,  
井上 佑一<sup>1</sup>  
大阪市立大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 大阪市立大学医学部 肝胆膵外科<sup>2</sup>

### P-19 腎細胞癌膵転移の2例

生駒 顕<sup>1</sup>, 澤 宗久<sup>1</sup>, 川口 美和<sup>1</sup>, 中田 耕平<sup>1</sup>, 佐原 伸也<sup>1</sup>, 高坂 功<sup>1</sup>,  
中井 資貴<sup>1</sup>, 南口 博紀<sup>1</sup>, 谷畑 博彦<sup>2</sup>, 河合 信行<sup>1</sup>, 園村 哲郎<sup>1</sup>, 佐藤 守男<sup>1</sup>  
和歌山県立医科大学 放射線医学教室<sup>1</sup>, 岸和田徳州会病院<sup>2</sup>

### P-20 十二指腸球部と交通の見られた膵管内乳頭粘液性腺腫の1例

坂口 千春<sup>1</sup>, 新本 弘<sup>1</sup>, 曾我 茂義<sup>1</sup>, 矢野 文月<sup>1</sup>, 渡邊 定弘<sup>1</sup>, 中井 完治<sup>1</sup>,  
川瀬 貴嗣<sup>1</sup>, 喜多 保<sup>1</sup>, 岩崎 善衛<sup>1</sup>, 加地 辰美<sup>1</sup>, 小須田 茂<sup>1</sup>, 川口 淳<sup>2</sup>,  
緒方 衝<sup>3</sup>  
防衛医科大学校 放射線医学講座<sup>1</sup>, 防衛医科大学校 第二内科<sup>2</sup>, 防衛医科大学校 臨床検査医学講座<sup>3</sup>

### P-21 膵管内管状腺癌の1例

渡邊 定弘<sup>1</sup>, 坂口 千春<sup>1</sup>, 曾我 茂義<sup>1</sup>, 中井 完治<sup>1</sup>, 喜多 保<sup>1</sup>, 川瀬 貴嗣<sup>1</sup>,  
岩崎 善衛<sup>1</sup>, 新本 弘<sup>1</sup>, 加地 辰美<sup>1</sup>, 小須田 茂<sup>1</sup>, 山本 順司<sup>2</sup>, 初瀬 一夫<sup>2</sup>,  
緒方 衝<sup>3</sup>  
防衛医科大学校病院 放射線科<sup>1</sup>, 防衛医科大学校病院 外科<sup>2</sup>, 防衛医科大学校病院 臨床検査医学講座<sup>3</sup>

### P-22 胃に直接浸潤を来した膵腺房細胞癌の1例

曹 博信<sup>1</sup>, 市川 智章<sup>1</sup>, 佐野 勝廣<sup>1</sup>, 河野 浩二<sup>2</sup>, 荒木 力<sup>1</sup>  
山梨大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 山梨大学医学部 第一外科<sup>2</sup>

### P-23 Pancreatic schwannomaの一例

安座間真也<sup>1</sup>, 松本 幸一<sup>1</sup>, 岡村 啓二<sup>2</sup>, 岸川 圭嗣<sup>2</sup>, 宮本 祐一<sup>3</sup>  
白石共立病院 放射線科<sup>1</sup>, 白石共立病院 外科<sup>2</sup>, 白石共立病院 病理<sup>3</sup>

### P-24 膵内副脾に発生した炎症性偽腫瘍の1例

大倉 直樹<sup>1</sup>, 森 健作<sup>1</sup>, 森下由紀雄<sup>2</sup>, 小田 竜也<sup>3</sup>, 田野井智倫<sup>3</sup>, 南 学<sup>1</sup>  
筑波大学附属病院 放射線科<sup>1</sup>, 筑波大学附属病院 病理部<sup>2</sup>, 筑波大学附属病院 消化器外科<sup>3</sup>

## ポスターディスカッション 4

座 長 菅原 敬文(四国がんセンター 放射線科)

### P-25 嚢胞内出血を来たした膵リンパ管腫の一例

甲川佳代子<sup>1</sup>, 吉村 佳子<sup>1</sup>, 森本 賢吾<sup>1</sup>, 高濱 潤子<sup>2</sup>, 吉川 公彦<sup>2</sup>, 山田 貴<sup>3</sup>,  
大住 周司<sup>3</sup>, 堤 雅弘<sup>4</sup>

済生会中和病院 放射線科<sup>1</sup>, 奈良医大 放射線科<sup>2</sup>, 済生会中和病院 外科<sup>3</sup>, 済生会中和病院 臨床病理部<sup>4</sup>

### P-26 漿液性嚢胞腺腫類似の内部構造を示した膵内分泌腫瘍の1例

小田 尚吾<sup>1</sup>, 菅原 敬文<sup>1</sup>, 城戸 倫之<sup>1</sup>, 青野 祥司<sup>1</sup>, 井上 武<sup>1</sup>, 酒井 伸也<sup>1</sup>,  
高橋 忠章<sup>1</sup>, 仙波 貴敏<sup>1</sup>, 上津孝太郎<sup>1</sup>, 濱本 泰<sup>1</sup>, 片岡 正明<sup>1</sup>, 大田 耕司<sup>2</sup>,  
棚田 稔<sup>2</sup>, 高畑 浩之<sup>3</sup>, 西村理恵子<sup>3</sup>, 寺本 典弘<sup>3</sup>

四国がんセンター 放射線科<sup>1</sup>, 四国がんセンター 消化器外科<sup>2</sup>, 四国がんセンター 病理科<sup>3</sup>

### P-27 Epithelial cyst of the pancreas

本杉宇太郎<sup>1</sup>, 中島 寛人<sup>2</sup>, 小山 敏雄<sup>6</sup>, 岡田 吉隆<sup>3</sup>, 井上 快児<sup>3</sup>, 小澤 栄人<sup>3</sup>,  
西 直子<sup>3</sup>, 水越 和歌<sup>3</sup>, 松尾 有香<sup>3</sup>, 木村 文子<sup>3</sup>, 岡本 光順<sup>4</sup>, 山口 浩<sup>5</sup>,  
佐野 勝廣<sup>1</sup>, 市川 智章<sup>1</sup>, 荒木 力<sup>1</sup>

山梨大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 山梨県立中央病院 放射線科<sup>2</sup>,

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科<sup>3</sup>, 埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科<sup>4</sup>,

埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科<sup>5</sup>, 山梨県立中央病院 病理部<sup>6</sup>

### P-28 膵内副脾に嚢胞性腫瘍を合併した2例

河合 雄一<sup>1</sup>, 森 芳峰<sup>1</sup>, 鈴木耕次郎<sup>1</sup>, 伊藤 茂樹<sup>2</sup>, 長縄 慎二<sup>1</sup>

名古屋大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 名古屋大学医学部 保健学科<sup>2</sup>

### P-29 小腸病変を合併した自己免疫性膵炎と考えられたIgG4関連疾患の一例

井本 勝治<sup>1</sup>, 澁谷志保子<sup>1</sup>, 石川 祐一<sup>1</sup>, 山崎 道夫<sup>1</sup>, 坂本 力<sup>1</sup>, 見島 裕之<sup>2</sup>,  
南部 卓三<sup>2</sup>

公立甲賀病院 放射線科<sup>1</sup>, 公立甲賀病院 消化器内科<sup>2</sup>

### P-30 卵殻状石灰化を伴った大網腫瘍の一例

古賀 清子, 金田 智, 森 徹, 古寺 研一

東京都済生会中央病院 放射線科

### P-31 低血糖を契機に発見された非典型的な画像所見を呈した脾サルコイド結節の1例

水野まゆみ, 山川 通隆

東京都老人医療センター

## ポスターディスカッション 5

座 長 黒川 浩典(津山中央病院 放射線科)

### P-32 腎原発滑膜肉腫の1例

清水 幸生<sup>1</sup>, 山元 龍哉<sup>1</sup>, 木村 浩彦<sup>1</sup>, 塩山 力也<sup>2</sup>, 鈴木 裕志<sup>2</sup>, 内木 宏延<sup>3</sup>, 野島 孝之<sup>4</sup>  
 福井大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 公立小浜病院 泌尿器科<sup>2</sup>, 福井大学医学部 分子病理<sup>3</sup>,  
 金沢医科大学 病態診断医学<sup>4</sup>

### P-33 腎細胞癌との鑑別が困難であった腎血管筋脂肪腫の1例

伊藤 信嗣<sup>1</sup>, 亀井 誠二<sup>2</sup>, 川瀬世津子<sup>1</sup>, 奥田 隆仁<sup>1</sup>, 松田 譲<sup>2</sup>, 石口 恒男<sup>2</sup>,  
 前田 真一<sup>3</sup>, 清家 健作<sup>3</sup>, 加藤 成一<sup>3</sup>, 田代 和広<sup>4</sup>, 長縄 慎二<sup>5</sup>  
 トヨタ記念病院 放射線科<sup>1</sup>, 愛知医科大学医学部 放射線医学教室<sup>2</sup>, トヨタ記念病院 泌尿器科<sup>3</sup>,  
 トヨタ記念病院 臨床検査科<sup>4</sup>, 名古屋大学医学部 放射線医学教室<sup>5</sup>

### P-34 後腹膜出血を契機に発見され、静脈腫瘍栓を伴った右副腎癌の一例

龍 泰治<sup>1</sup>, 香田 渉<sup>1</sup>, 南 哲弥<sup>1</sup>, 滝 圭一<sup>2</sup>, 橋本 成弘<sup>1</sup>, 小林 聡<sup>1</sup>,  
 眞田順一郎<sup>1</sup>, 蒲田 敏文<sup>1</sup>, 松井 修<sup>1</sup>, 全 陽<sup>3</sup>, 向 宗徳<sup>3</sup>, 小橋 一功<sup>4</sup>,  
 北川 育秀<sup>5</sup>, 高 栄哲<sup>5</sup>, 前田 雄司<sup>5</sup>, 栗林 正人<sup>5</sup>, 並木 幹夫<sup>5</sup>  
 金沢大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 加賀市民病院 放射線科<sup>2</sup>, 金沢大学附属病院 病理部<sup>3</sup>,  
 加賀市民病院 泌尿器科<sup>4</sup>, 金沢大学医学部 泌尿器科<sup>5</sup>

### P-35 家族性AIMAH(ACTH-independent macronodular adrenal hyperplasia)の2例

高田 章<sup>1</sup>, 神岡 祐子<sup>1</sup>, 岡江 俊治<sup>1</sup>, 萩原 大輔<sup>2</sup>, 原 奈津美<sup>2</sup>, 雨宮 剛<sup>3</sup>,  
 秋田 英俊<sup>4</sup>, 早川 清順<sup>5</sup>  
 安城更生病院 放射線科<sup>1</sup>, 安城更生病院 内分泌内科<sup>2</sup>, 安城更生病院 外科<sup>3</sup>, 安城更生病院 泌尿器科<sup>4</sup>,  
 安城更生病院 病理科<sup>5</sup>

### P-36 両副腎悪性リンパ腫の1例

黒川 浩典<sup>1</sup>, 藤島 護<sup>1</sup>, 河原 道子<sup>1</sup>, 三好 健司<sup>2</sup>, 谷口 英明<sup>2</sup>, 三宅 孝佳<sup>3</sup>, 金澤 右<sup>4</sup>  
 津山中央病院 放射線科<sup>1</sup>, 津山中央病院 内科<sup>2</sup>, 津山中央病院 病理<sup>3</sup>,  
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学<sup>4</sup>

### P-37 後腹膜のリンパ脈管筋腫症(Lymphangiomyoma)の一例

広村 忠雄, 佐藤 昌明  
 N T T 東日本札幌病院 放射線科

### P-38 後腹膜soft tissue perineuriomaの1例

康本真由美<sup>1</sup>, 片田 芳明<sup>1</sup>, 松本 玲子<sup>1</sup>, 中川 宏治<sup>2</sup>, 大島 忠<sup>3</sup>, 兼子 耕<sup>4</sup>, 安達 章子<sup>4</sup>  
 さいたま赤十字病院 放射線科<sup>1</sup>, さいたま赤十字病院 外科<sup>2</sup>, さいたま赤十字病院 内科<sup>3</sup>,  
 さいたま赤十字病院 病理<sup>4</sup>

### P-39 骨盤部Castleman disease を合併した腫瘍随伴性天疱瘡の1例

竹山 信之<sup>1</sup>, 橋本 東児<sup>1</sup>, 林 高樹<sup>1</sup>, 木根淵裕子<sup>1</sup>, 佐藤 雅道<sup>2</sup>, 山口 史博<sup>3</sup>,  
 光谷 俊幸<sup>4</sup>, 岡田 一郎<sup>5</sup>  
 昭和大学藤が丘病院 放射線科<sup>1</sup>, 昭和大学藤が丘病院 皮膚科<sup>2</sup>, 昭和大学藤が丘病院 呼吸器内科<sup>3</sup>,  
 昭和大学藤が丘病院 病院病理科<sup>4</sup>, 昭和大学藤が丘病院 外科<sup>5</sup>

## ポスターディスカッション 6

座 長 竹内麻由美(徳島大学医学部 放射線科)

### P-40 後腹膜神経鞘腫の1例

土田 千賀<sup>1</sup>, 岩崎 俊子<sup>1</sup>, 澤井 利次<sup>2</sup>, 泉 俊昌<sup>2</sup>, 河原 栄<sup>3</sup>  
福井総合病院 放射線科<sup>1</sup>, 福井総合病院 外科<sup>2</sup>, 金沢大学医学部 保健学科<sup>3</sup>

### P-41 高齢女性の後腹膜腔に発生した内膜症性嚢胞の一例

松崎 健司<sup>1</sup>, 竹内麻由美<sup>1</sup>, 西谷 弘<sup>1</sup>, 上原 久典<sup>2</sup>, 金本 真美<sup>3</sup>  
徳島大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 徳島大学医学部 環境病理<sup>2</sup>, 徳島大学医学部 消化器外科<sup>3</sup>

### P-42 初期像から典型像に至るまでの画像経過が追跡できた後腹膜線維症の一例

中本 隆介<sup>1</sup>, 山本菜穂子<sup>1</sup>, 山岡 利成<sup>1</sup>, 木戸 晶<sup>1</sup>, 辻 聖佳<sup>1</sup>, 野々村光世<sup>2</sup>,  
市岡健太郎<sup>2</sup>  
京都桂病院 放射線科<sup>1</sup>, 京都桂病院 泌尿器科<sup>2</sup>

### P-43 尿管周囲の炎症性偽腫瘍が初発病変であったIgG4関連硬化性疾患の1例

坪山 尚寛, 金 東石, 堀 雅敏, 巽 光朗, 大西 裕満, 大須賀慶悟, 中矢 泰裕,  
中本 篤, 前田 登, 東原 大樹, 友田 要, 中村 仁信  
大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学講座

### P-44 消化管異物 魚骨によるS状結腸穿通、放線菌腹壁膿瘍を形成した1例

吉田 理佳<sup>1</sup>, 辻 厳吾<sup>1</sup>, 小山 新吾<sup>1</sup>, 吉儀 淳<sup>1</sup>, 千葉 一彦<sup>2</sup>, 澤田 雄<sup>3</sup>,  
長堀 薫<sup>3</sup>, 津浦 幸夫<sup>4</sup>  
横須賀共済病院 放射線科<sup>1</sup>, 横須賀共済病院 中央放射線科<sup>2</sup>, 横須賀共済病院 外科<sup>3</sup>,  
横須賀共済病院 病理<sup>4</sup>

### P-45 骨盤内病変摘出術後4ヶ月で腹壁膿瘍および肝膿瘍として再燃した放線菌症の1例

津布久雅彦<sup>1</sup>, 稲葉 明美<sup>2</sup>, 大野 秀夫<sup>2</sup>, 丸山 正統<sup>2</sup>, 石井 博<sup>3</sup>, 鈴木 君義<sup>4</sup>,  
佐久名孝臣<sup>1</sup>, 芦葉 弘志<sup>1</sup>, 森 健司<sup>1</sup>, 木村 浩明<sup>1</sup>  
丸山記念総合病院 放射線科<sup>1</sup>, 丸山記念総合病院 産婦人科<sup>2</sup>, 丸山記念総合病院 消化器外科<sup>3</sup>,  
正和ラボラトリー<sup>4</sup>

### P-46 子宮内避妊具留置に伴う骨盤放線菌症の1例

進藤美智子<sup>1</sup>, 福田 俊夫<sup>1</sup>, 崎戸 康治<sup>1</sup>, 南 和徳<sup>1</sup>, 溝上 明成<sup>2</sup>, 入江 準二<sup>3</sup>,  
上谷 雅孝<sup>4</sup>  
長崎市立市民病院 放射線科<sup>1</sup>, 長崎市立市民病院 内科<sup>2</sup>, 長崎市立市民病院 病理部<sup>3</sup>,  
長崎大学病院 放射線科<sup>4</sup>

### P-47 術前診断に苦慮した腹壁MPNSTの一例

野崎 太希<sup>1</sup>, 楨殿文香理<sup>1</sup>, 小野田 結<sup>1</sup>, 松迫 正樹<sup>1</sup>, 不破 相勲<sup>1</sup>, 齋田 幸久<sup>1</sup>,  
鈴木 高祐<sup>2</sup>  
聖路加国際病院 放射線科<sup>1</sup>, 聖路加国際病院 病理診断科<sup>2</sup>

## ポスターディスカッション7

座 長 滝川 政和(国立病院機構相模原病院 放射線科)

### P-48 胃転移を来した肝細胞癌の1例

杉浦 充<sup>1</sup>, 白淵 浩明<sup>1</sup>, 宮崎知保子<sup>1</sup>, 武内 利直<sup>2</sup>  
市立札幌病院 放射線診断科<sup>1</sup>, 市立札幌病院 病理科<sup>2</sup>

### P-49 盲腸軸捻転による盲腸穿孔の1例

大沼雄一郎<sup>1</sup>, 瀧川 政和<sup>1</sup>, 大森 智子<sup>1</sup>, 北野 雅史<sup>1</sup>, 福岡 麻子<sup>2</sup>, 岸本 一郎<sup>2</sup>,  
金澤 秀紀<sup>2</sup>, 金田 悟郎<sup>2</sup>, 佐々木真弓<sup>3</sup>  
独立行政法人国立病院機構 相模原病院 放射線科<sup>1</sup>, 独立行政法人国立病院機構 相模原病院 外科<sup>2</sup>,  
至誠会第二病院 放射線科<sup>3</sup>

### P-50 冠状断再構成画像が診断に有用であった重複腸管内翻の一例

坂田 昭彦, 市橋 成夫, 牧 大介, 渡邊 祐司, 永山 雅子, 奥村 明, 中野 覚,  
天羽 賢樹, 石守 崇好, 中下 悟, 坂田 千恵, 廣瀬 瑞樹, 池田 格, 有本 麻耶,  
藪田 実, 河村 晃, 百々 義廣  
倉敷中央病院 放射線科

### P-51 巨大毛髪胃石の1例

有菌 茂樹, 磯田 裕義, 嶋田功太郎, 広川 侑奨, 柴田登志也, 久保 武, 富樫かおり  
京都大学 放射線診断科

### P-52 腸回転異常症を伴った空腸GISTの1例

二ノ井照久<sup>1</sup>, 重岡 宏典<sup>2</sup>  
PL病院 放射線科<sup>1</sup>, PL病院 外科<sup>2</sup>

### P-53 小腸静脈奇形の一例

大森 智子<sup>1</sup>, 瀧川 政和<sup>1</sup>, 大沼雄一郎<sup>1</sup>, 北野 雅史<sup>1</sup>, 三富 弘之<sup>2</sup>, 浅野 雄二<sup>3</sup>,  
佐々木真弓<sup>4</sup>, 磯部 義憲<sup>5</sup>  
国立病院機構相模原病院 放射線科<sup>1</sup>, 国立病院機構相模原病院 病理<sup>2</sup>, 北里大学医学部 放射線科<sup>3</sup>,  
至誠会第二病院 放射線科<sup>4</sup>, 国立病院機構東京医療センター 放射線科<sup>5</sup>

### P-54 Desmoplastic Small Round Cell Tumorの一例

角 明子<sup>1</sup>, 内田 政史<sup>1</sup>, 迫田 順<sup>1</sup>, 品川 正治<sup>1</sup>, 寺崎 洋<sup>1</sup>, 廣瀬 靖光<sup>1</sup>,  
有川 俊二<sup>1</sup>, 長田 周治<sup>1</sup>, 早瀬 尚文<sup>1</sup>, 藤吉 啓造<sup>2</sup>, 嘉村 敏治<sup>2</sup>, 真田 咲子<sup>3</sup>  
久留米大学 放射線科<sup>1</sup>, 久留米大学 産婦人科<sup>2</sup>, 久留米大学 病理<sup>3</sup>

### P-55 嚢胞内出血で発症した腹腔内嚢胞性リンパ管腫の2例

稲田 悠紀, 松木 充, 金澤 秀次, 中井 豪, 立神 史稔, 結城 雅子, 鳴海 善文  
大阪医科大学 放射線医学教室

## ポスターディスカッション 8

座 長 阿保 齊(富山県立中央病院 放射線科)

### P-56 子宮筋層からの発生が疑われた腺癌の一例

山田 祥岳<sup>1</sup>, 小川 健二<sup>1</sup>, 塩見 英佑<sup>2</sup>, 升田 博隆<sup>3</sup>, 青木 類<sup>3</sup>, 安田 政美<sup>4</sup>  
日本鋼管病院 放射線科<sup>1</sup>, 慶應義塾大学医学部 放射線診断科<sup>2</sup>, 日本鋼管病院 産婦人科<sup>3</sup>,  
埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科<sup>4</sup>

### P-57 子宮癌肉腫による非産褥性子宮内反症の1例

松浦 明子<sup>1</sup>, 浦島 正喜<sup>1</sup>, 西原 礼介<sup>1</sup>, 大成 妙<sup>1</sup>, 迫田 慈子<sup>1</sup>, 伊東 淳<sup>1</sup>,  
影本 正之<sup>1</sup>, 吉田 信隆<sup>2</sup>, 石田 理<sup>2</sup>  
広島市立広島市民病院 放射線科<sup>1</sup>, 広島市立広島市民病院 産婦人科<sup>2</sup>

### P-58 子宮adenosarcomaの一例

北詰 良雄<sup>1</sup>, 中港秀一郎<sup>3</sup>, 田浦 新一<sup>3</sup>, 佐藤 史郎<sup>3</sup>, 伊藤 栄作<sup>5</sup>, 関口 将軌<sup>2</sup>,  
陶守敬二郎<sup>4</sup>, 渋谷 均<sup>1</sup>  
東京医科歯科大学医学部附属病院 画像診断・放射線治療科<sup>1</sup>,  
東京医科歯科大学医学部附属病院 周産・女性診療科<sup>2</sup>, 青梅市立総合病院 放射線科<sup>3</sup>,  
青梅市立総合病院 産婦人科<sup>4</sup>, 青梅市立総合病院 病理診断科<sup>5</sup>

### P-59 子宮Cotyledonoid dissecting leiomyomaの一例

元島 成信<sup>1</sup>, 中園 貴彦<sup>1</sup>, 岡島 由佳<sup>1</sup>, 入江 裕之<sup>1</sup>, 工藤 祥<sup>1</sup>, 田中 麻理<sup>2</sup>,  
中尾 佳史<sup>2</sup>, 横山 正俊<sup>2</sup>, 岩坂 剛<sup>2</sup>, 山崎 文朗<sup>3</sup>  
佐賀大学医学部 放射線科<sup>1</sup>, 佐賀大学医学部 産婦人科<sup>2</sup>, 佐賀大学医学部 病院病理部<sup>3</sup>

### P-60 卵管原発と考えられた成熟嚢胞性奇形腫の1例

阿保 齊<sup>1</sup>, 出町 洋<sup>1</sup>, 吉田 未来<sup>1</sup>, 福岡 誠<sup>1</sup>, 服部 由紀<sup>1</sup>, 炭谷 崇義<sup>2</sup>,  
中野 隆<sup>2</sup>, 内山 明央<sup>3</sup>, 三輪 淳夫<sup>3</sup>  
富山県立中央病院 放射線科<sup>1</sup>, 産婦人科<sup>2</sup>, 臨床病理科<sup>3</sup>

### P-61 術前診断に苦慮した巨大な卵管癌の1例

酒井 伸也<sup>1</sup>, 上津幸太郎<sup>1</sup>, 小田 尚吾<sup>1</sup>, 仙波 貴敏<sup>1</sup>, 濱本 泰<sup>1</sup>, 高橋 忠章<sup>1</sup>,  
青野 祥司<sup>1</sup>, 井上 武<sup>1</sup>, 菅原 敬文<sup>1</sup>, 片岡 正明<sup>1</sup>, 白山 裕子<sup>2</sup>, 日浦 昌道<sup>2</sup>,  
寺本 典弘<sup>3</sup>  
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 放射線科<sup>1</sup>,  
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 婦人科<sup>2</sup>,  
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 病理科<sup>3</sup>

### P-62 広靱帯由来のウォルフ管起源と考えられる腫瘍の一例

大石 光寿<sup>1</sup>, 中園 貴彦<sup>1</sup>, 元島 成信<sup>1</sup>, 入江 裕之<sup>1</sup>, 工藤 祥<sup>1</sup>, 安永 牧生<sup>2</sup>,  
内橋 和芳<sup>3</sup>, 山崎 文朗<sup>3</sup>  
佐賀大学医学部附属病院 放射線科<sup>1</sup>, 佐賀大学医学部附属病院 産婦人科<sup>2</sup>, 佐賀大学医学部 病理<sup>3</sup>

## ポスターディスカッション 9

座 長 扇谷 芳光(昭和大学医学部 放射線医学教室)

### P-63 卵巣漿液性嚢胞性境界悪性腫瘍のMRI所見

中井 豪<sup>1</sup>, 松木 充<sup>1</sup>, 稲田 悠紀<sup>1</sup>, 金澤 秀次<sup>1</sup>, 立神 史稔<sup>1</sup>, 結城 雅子<sup>1</sup>,  
鳴海 善文<sup>1</sup>, 山田 隆司<sup>2</sup>  
大阪医科大学 放射線科<sup>1</sup>, 大阪医科大学 第2病理学教室<sup>2</sup>

### P-64 卵巣のMalignant Brenner tumorの一例

扇谷 芳光<sup>1</sup>, 高谷 周<sup>1</sup>, 河原 正明<sup>1</sup>, 橋爪 崇<sup>1</sup>, 西城 誠<sup>1</sup>, 須山 淳平<sup>1</sup>,  
清野 哲孝<sup>1</sup>, 廣瀬 正典<sup>1</sup>, 後閑 武彦<sup>1</sup>, 九島 巳樹<sup>2</sup>  
昭和大学医学部 放射線医学教室<sup>1</sup>, 昭和大学病院 病院病理科<sup>2</sup>

### P-65 Chemical shift imaging で脂質を同定し得たsteroid cell tumor の1例

坂本 桂子<sup>1</sup>, 吉満 研吾<sup>1</sup>, 藤光 律子<sup>1</sup>, 井田 樹子<sup>1</sup>, 堀内 新司<sup>2</sup>, 濱田 義浩<sup>3</sup>  
福岡大学医学部 放射線医学教室<sup>1</sup>, 福岡大学医学部 産婦人科学教室<sup>2</sup>, 福岡大学医学部 病理学教室<sup>3</sup>

### P-66 卵巣原発平滑筋肉腫の一例

金田 祥, 藤井 進也, 柿手 卓, 松末 英司, 金崎 佳子, 太田 靖利, 神納 敏夫,  
小川 敏英  
鳥取大学医学部 病態解析医学講座 医用放射線学分野

### P-67 卵巣小細胞癌の1例

河原 正明<sup>1</sup>, 扇谷 芳光<sup>1</sup>, 須山 淳平<sup>1</sup>, 廣瀬 正典<sup>1</sup>, 後閑 武彦<sup>1</sup>, 伊達 由子<sup>2</sup>,  
諸星 利男<sup>2</sup>  
昭和大学医学部 放射線医学科<sup>1</sup>, 昭和大学医学部 第一病理学<sup>2</sup>

### P-68 内膜症性嚢胞に生じたpolypoid endometriosisの一例

藤井 進也, 金田 祥, 柿手 卓, 松末 英司, 金崎 佳子, 太田 靖利, 神納 敏夫,  
小川 敏英  
鳥取大学医学部 病態解析医学講座 医用放射線学分野

### P-69 巨大未熟奇形腫の1例

有本 博<sup>1</sup>, 安賀 文俊<sup>1,2</sup>, 鳴海 善文<sup>1</sup>, 中村 嘉宏<sup>2</sup>, 山田 隆司<sup>3</sup>  
大阪医科大学 放射線科<sup>1</sup>, 北摂総合病院 産婦人科<sup>2</sup>, 大阪医科大学 病院病理部<sup>3</sup>

## ポスターディスカッション 10

座 長 加藤 博基(岐阜大学医学部 放射線科)

### P-70 外陰部線維上皮性ポリープ (fibroepithelial polyp) の1例

加藤 博基<sup>1</sup>, 兼松 雅之<sup>1</sup>, 星 博昭<sup>1</sup>, 佐藤絵里子<sup>2</sup>, 伊藤 直樹<sup>2</sup>, 古井 辰郎<sup>2</sup>,  
今井 篤志<sup>2</sup>, 廣瀬 善信<sup>3</sup>

岐阜大学 放射線科<sup>1</sup>, 岐阜大学 成育医療科・女性科<sup>2</sup>, 岐阜大学 病理部<sup>3</sup>

### P-71 腔壁に発生したangiomyofibroblastomaの1例

山本 亨<sup>1</sup>, 池野 宏<sup>1</sup>, 新村理絵子<sup>1</sup>, 吉川 淳<sup>1</sup>, 加藤 三典<sup>2</sup>, 土田 達<sup>2</sup>,  
海崎 泰治<sup>3</sup>

福井県立病院放射線科<sup>1</sup>, 福井県立病院産婦人科<sup>2</sup>, 福井県立病院臨床病理科<sup>3</sup>

### P-72 前立腺mucinous carcinomaの1例

古田 昭寛<sup>1</sup>, 小山 貴<sup>1</sup>, 山内 盛敬<sup>1</sup>, 奥知 左智<sup>1</sup>, 藤村 由佳<sup>1</sup>, 叶 篤浩<sup>1</sup>,  
塩崎 俊城<sup>1</sup>, 小嶋 志之<sup>1</sup>, 石垣 孝<sup>1</sup>, 井藤 隆太<sup>1,4</sup>, 藤堂 義郎<sup>1</sup>, 堤 尚史<sup>2</sup>,  
光森 健二<sup>2</sup>, 若狭 朋子<sup>3</sup>

大阪赤十字病院 放射線科<sup>1</sup>, 大阪赤十字病院 泌尿器科<sup>2</sup>, 大阪赤十字病院 病理部<sup>3</sup>,  
滋賀医科大学 放射線科<sup>4</sup>

### P-73 鼠径管に生じた異所性内膜症の4例

須山 淳平<sup>1</sup>, 河原 正明<sup>1</sup>, 竹山 信之<sup>2</sup>, 扇谷 芳光<sup>1</sup>, 廣瀬 正典<sup>1</sup>, 後閑 武彦<sup>1</sup>,  
九島 巳樹<sup>3</sup>

昭和大学医学部 放射線医学教室<sup>1</sup>, 昭和大学藤が丘病院 放射線科<sup>2</sup>, 昭和大学病院 病院病理科<sup>3</sup>

### P-74 拡散強調像で高信号を示した陰茎海綿体転移の一例

丸上 永晃<sup>1</sup>, 北野 悟<sup>2</sup>, 高濱 潤子<sup>2</sup>, 伊藤 高広<sup>2</sup>, 高橋 亜希<sup>2</sup>, 廣橋 伸治<sup>3</sup>,  
吉川 公彦<sup>2</sup>

奈良県立医科大学 中央内視鏡・超音波部<sup>1</sup>, 奈良県立医科大学 放射線科<sup>2</sup>, 大阪暁明館病院 放射線科<sup>3</sup>

### P-75 下大静脈欠損に伴う腸骨静脈門脈短絡の一例

渡邊 晶子<sup>1</sup>, 鈴木 滋<sup>1</sup>, 神武 裕<sup>1</sup>, 大場 洋<sup>1</sup>, 竹下 浩二<sup>1</sup>, 豊田 圭子<sup>1</sup>,  
高田 晃一<sup>1</sup>, 工富 公子<sup>1</sup>, 治山 高広<sup>1</sup>, 中埜 良康<sup>1</sup>, 城戸内 孝<sup>1</sup>, 古井 滋<sup>1</sup>,  
河野 通貴<sup>2</sup>, 堀口 定昭<sup>3</sup>, 新見 正則<sup>2</sup>

帝京大学医学部附属病院 放射線科<sup>1</sup>, 帝京大学医学部附属病院 外科<sup>2</sup>, 愛誠病院<sup>3</sup>

### P-76 間歇性水腎症をきたした尿管坐骨孔ヘルニアの一例

赤田 渉<sup>1</sup>, 細田 誠<sup>1</sup>, 平山 きふ<sup>2</sup>, 高田 仁<sup>2</sup>, 大内 薫<sup>1</sup>, 高橋 健<sup>1</sup>

社会保険京都病院放射線科<sup>1</sup>, 社会保険京都病院泌尿器科<sup>2</sup>

## クイズ展示発表者

上者 郁夫 岡山大学大学院保健学研究科 放射線技術科学分野

長谷聡一郎 亀田総合病院 放射線科

三船 啓文 尾道市立市民病院 放射線科

櫻井 淳 香川県立中央病院 放射線部

岡山大学 放射線科





株式会社 AZE

大塚製薬 株式会社

株式会社 コンベンションリンケージ

株式会社 島津製作所

株式会社 フィリップスエレクトロニクスジャパン

株式会社 メディコスヒラタ

シーメンス旭メディテック 株式会社

GE 横河メディカルシステム 株式会社

東芝メディカルシステムズ 株式会社

株式会社 根本杏林堂

バイエル薬品 株式会社

ピー・エス・ピー 株式会社

富士フイルムメディカル 株式会社



しっかり守って、きれいに治す。

〔禁忌(次の患者には投与しないこと)〕  
本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

**ムコスタの特徴**

- 1.胃粘膜のPG増加作用・フリーラジカル抑制作用を併せ持つ初めての胃炎・胃潰瘍治療剤です。
- 2.NSAIDs(ラット)\*や*Helicobacter pylori* (in vitro)などによる胃粘膜傷害を抑制します。
- 3.胃潰瘍のQOUH\*\*を高め、再発・再燃を抑制します(ラット)。
- 4.胃炎\*\*\*、特にびらん・出血に対する有効性が認められています。
- 5.胃粘膜の炎症を制御し、粘膜機能を改善します。
- 6.副作用発現症例率は0.54%(54/10,047)で、その主なものは、便秘9件、ALT(GPT)上昇5件等でした。(ムコスタ錠100の承認時及び再審査終了時)  
また、重大な副作用としてショック、アナフィラキシー様症状、白血球減少、血小板減少、肝機能障害及び黄疸があらわれることがあります。

\* NSAIDs: non-steroidal anti-inflammatory drugs (非ステロイド性抗炎症薬)

\*\* QOUH: Quality of ulcer healing (潰瘍治癒の質)

\*\*\* 胃 炎: 急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期

〔効能・効果〕及び〔用法・用量〕

〔効能・効果〕	〔用法・用量〕
胃潰瘍	通常、成人には1回レバミピドとして100mg(ムコスタ錠100:1錠、ムコスタ顆粒20%:0.5g)を1日3回、朝、夕及び就寝前に経口投与する。
下記疾患の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善 急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期	通常、成人には1回レバミピドとして100mg(ムコスタ錠100:1錠、ムコスタ顆粒20%:0.5g)を1日3回経口投与する。

〔使用上の注意〕—抜粋—

副作用

調査症例10,047例中54例(0.54%)に臨床検査値の異常を含む副作用が認められている。このうち65歳以上の高齢者3,035例では18例(0.59%)に副作用がみられた。副作用発現率、副作用の種類においても高齢者と非高齢者で差は認められなかった。(ムコスタ錠100の承認時及び再審査終了時)  
以下の副作用には別途市販後に報告された自発報告を含む。

重大な副作用

- 1.ショック、アナフィラキシー様症状(頻度不明\*):ショック、アナフィラキシー様症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 2.白血球減少(0.1%未満)、血小板減少(頻度不明\*):白血球減少、血小板減少があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 3.肝機能障害(0.1%未満)、黄疸(頻度不明\*):AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP、ALPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

\*:自発報告において認められた副作用のため頻度不明。

◇その他の使用上の注意等は、製品添付文書をご参照ください。

胃炎・胃潰瘍治療剤

指定医薬品

**ムコスタ** 錠100 顆粒20%  
Mucosta® レバミピド製剤



製造販売元

大塚製薬株式会社

Otsuka 東京都千代田区神田町2-9

資料請求先

大塚製薬株式会社 信頼性保証本部 医薬情報センター

〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー 13F

GE Healthcare

# Healthcare Re-imagined.

より早く、正確に。想像力の先にひろがるEarly Health。

想像を、実像に。いよいよその時がやってきました。

診療の原点を見つめ、私たちが探ってきたEarly Healthの可能性はより具体的なアイデアを包み込んだ種子となり、あらゆる分野へ飛び立とうとしています。患者さまのために、利用される皆さまのために、さらにはすべての人がよりよい診療サービスをいち早く享受するために、画像診断技術はいかにあるべきか？診療世界の次の10年を、より実りあるものとするために、これまで超えられなかった壁を軽やかに飛び越え、理想形へと着床します。

Re-imagine・・・それは、診療のよりよい未来に、答えを出しつつづけること。



GE横河メディカルシステム

カスタマー・コールセンター 0120-202-021

[www.gehealthcare.co.jp](http://www.gehealthcare.co.jp)



GE imagination at work



## Leading performance

---

Achieva 3.0T X-series 超電導磁気共鳴画像診断装置

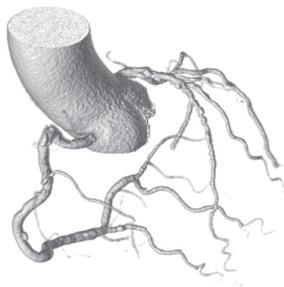
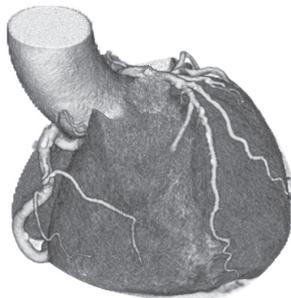
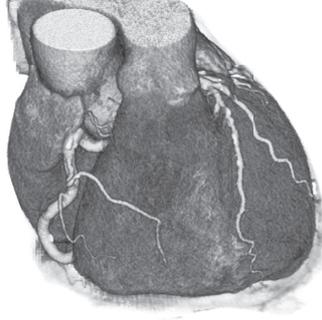
未来を開くXシリーズ、誕生。

フィリップスヘルスケア [www.healthcare.philips.com/jp](http://www.healthcare.philips.com/jp)

販売名:アチーバ 3.0T  
医療機器承認番号:21800BZX10060000  
設置管理医療機器/特定保守管理医療機器

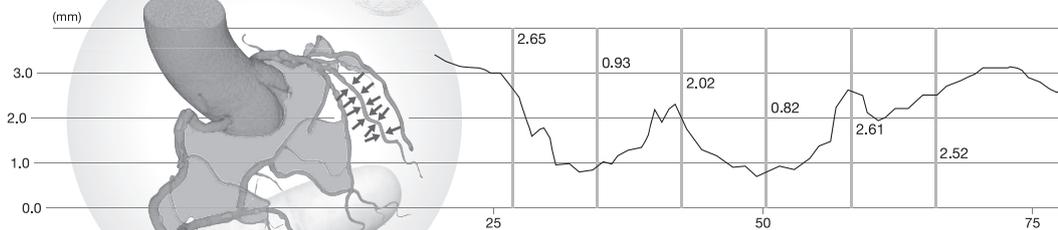
**PHILIPS**  
sense and simplicity

# FUJIFILM



「この画像」が、  
次の一手を決める。

more than imaginable



## SYNAPSEから、最も進んだ3D登場。



FUJIFILM独自の画像処理技術で高精度な自動抽出を実現し3Dの実用レベルを一気に引き上げました。解析フローに配慮した画面レイアウトでストレスのない直感的操作を実現。臨床ニーズに応える多彩なアプリケーションソフトを揃え、診断・治療計画をサポートする実用性の高い解析機能を搭載しています。

ボリュームアナライザー

# SYNAPSE VINCENT



薬事販売名:富士画像診断ワークステーション FN-7941型 薬事承認番号:22000BZX00238000

薬価基準収載



The New Definition of Liver Imaging

指定医薬品・処方せん医薬品\*

MRI用肝臓造影剤 (ガドキセト酸ナトリウム注射液)

# EOB・プリモビスト®注シリンジ

## EOB・Primovist® Inj. Syringe

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

### ■禁忌 (次の患者には投与しないこと)

本剤の成分又はガドリニウム系造影剤に対し過敏症の既往歴のある患者

### ■原則禁忌 (次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)

- (1) 一般状態の極度に悪い患者
- (2) 気管支喘息の患者

### ■効能・効果

磁気共鳴コンピューター断層撮影における肝腫瘍の造影

### ■用法・用量

通常、成人には本剤 0.1mL/kg を静脈内投与する。

### ■使用上の注意

#### 1.慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)

- (1) アレルギー性鼻炎、発疹、蕁麻疹等を起こしやすいアレルギー体質を有する患者
- (2) 両親、兄弟に気管支喘息、アレルギー性鼻炎、発疹、蕁麻疹等を起こしやすいアレルギー体質を有する患者
- (3) 薬物過敏症の既往歴のある患者
- (4) 重篤な腎障害のある患者

#### 2.重要な基本的注意

- (1) 本剤の投与にあたっては、気管支喘息等のアレルギー体質等について十分な問診を行うこと。
- (2) ショック、アナフィラキシー様症状等の重篤な副作用が発現するおそれがあるので、本剤の投与にあたっては、救急処置の準備を行うとともに、投与後も患者の状態を十分に観察すること。

### 3.副作用

総症例 1,755例中 76例 (4.33%)に副作用が認められた。主な副作用は、血管拡張 (熱感、潮紅) 16例 (0.91%)、悪心 12例 (0.68%)、味覚倒錯 9例 (0.51%)、頭痛 8例 (0.46%) 等であった。

(承認時：国内及び海外臨床試験の合計)

#### (1) 重大な副作用

ショック、アナフィラキシー様症状 (頻度不明)：ショック、アナフィラキシー様症状があらわれることがあるので、投与後も観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。

#### (2) その他の副作用

下記の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、必要に応じ適切な処置を行うこと。

	0.1 ~ 1 %未満
過敏症	発疹、痒疹
精神神経系	頭痛、めまい
循環器	血圧上昇
呼吸器	呼吸困難
消化器	悪心、嘔吐、下痢
その他	血管拡張 (熱感、潮紅)、味覚倒錯、異常感覚、嗅覚錯誤、投与部位疼痛

(2009年2月改訂添付文書)

■その他の使用上の注意等につきましては製品添付文書をご参照ください。

■禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意の改訂に十分ご留意ください。

資料請求先

バイエル薬品株式会社  
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001  
<http://www.bayer.co.jp/byl>



Bayer HealthCare  
Bayer Schering Pharma

EOB-09-4011  
(2009年3月作成)

サッカー大会  
の  
お知らせ

日 時 6月19日(金) 18:30~20:30 (雨天中止)

場 所 岡山商科大学附属高等学校 サッカーグラウンド  
(18:00に会場前からバスが出ます)

参加費 ¥3,000 (懇親会費込み)

申し込み先 郷原 英夫 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科放射線医学)

E-mail : fukubu09@cc.okayama-u.ac.jp

(参加していただける方には懇親会の予約人数の関係で、  
5月15日までにご連絡いただくと幸いです)

## 腹部放射線研究会

The Japanese Society of Abdominal Radiology (JSAR)

代表幹事 松井 修 (金沢大学)

副代表幹事 森 宣 (大分大学)

後閑 武彦 (昭和大学)

顧問 打田日出夫 (大雄会 IVR センター)

黒田 知純 (大阪がん予防検診センター)

中尾 宣夫 (兵庫医科大学)

平松 京一 (水町 MR クリニック)

平松 慶博 (サン虎の門クリニック)

宗近 宏次 (総合南東北病院)

幹事 荒木 力 (山梨大学)

大友 邦 (東京大学)

角谷 眞澄 (信州大学)

杉村 和朗 (神戸大学)

富樫かおり (京都大学)

中村 仁信 (大阪大学)

山下 康行 (熊本大学)

名誉会員 木戸長一郎 (木戸病院)

竹川 鉦一 (総合南東北病院)

山田 龍作 (大阪市立大学)

監事 今井 裕 (東海大学)

(敬称略・五十音順)

事務局 山田 康成

大分大学医学部 腫瘍病態制御講座 放射線医学

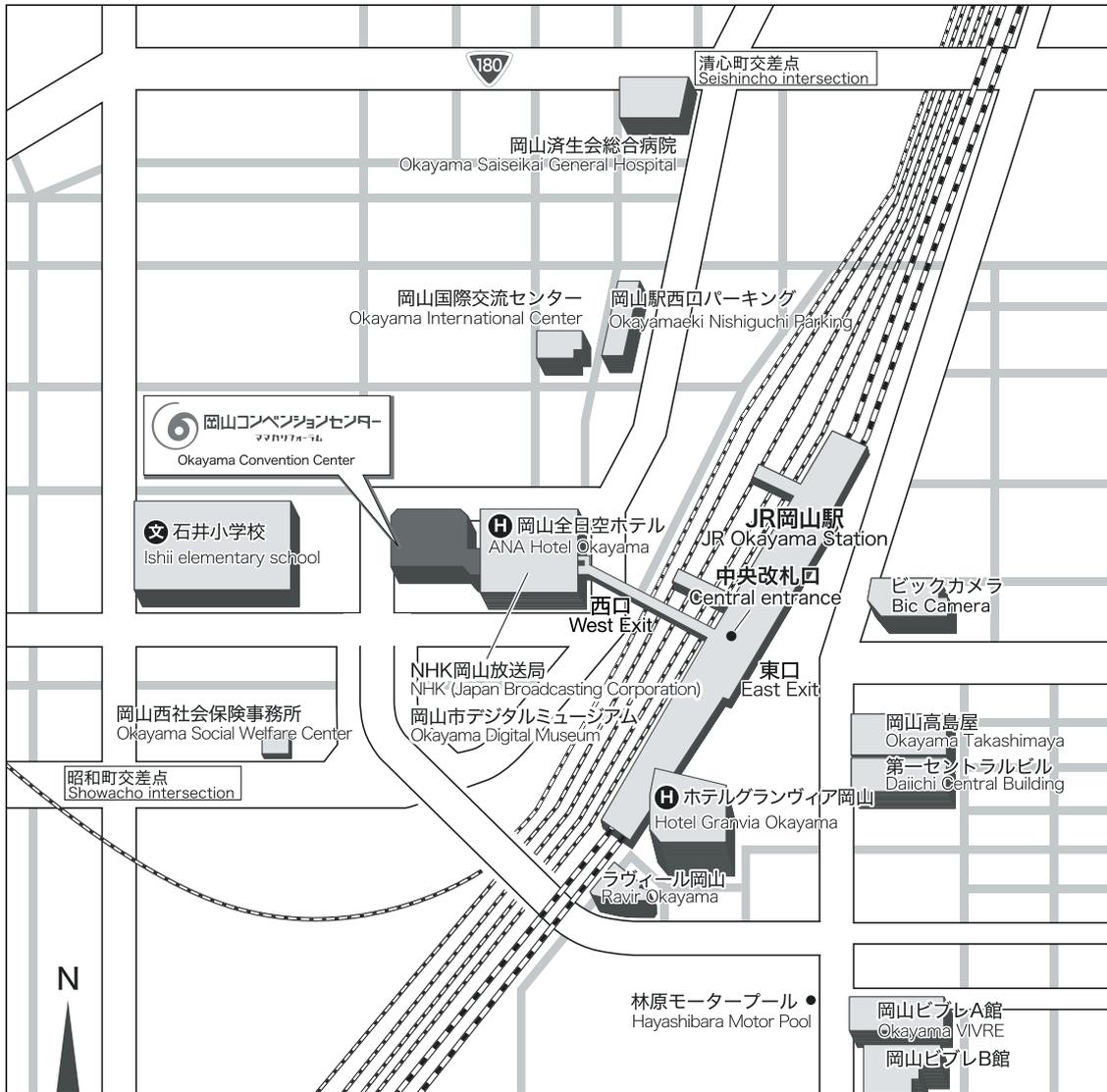
〒 879-5593 大分市由布市狭間町医生ヶ丘 1-1

TEL 097-586-5934 (放射線科医局)

FAX 097-586-0025

E-mail : JSAR@med.oita-u.ac.jp

# 会場案内図



## 交通案内

- JRでお越しの方  
JR 岡山駅中央改札口から西口方面へ徒歩約 3 分
- お車でお越しの方  
岡山空港から約 30 分 岡山 I.C から約 20 分
- 飛行機でお越しの方  
岡山空港より岡山駅行きのバスをご利用ください。約 40 分（ノンストップバス約 30 分）  
※バスは JR 岡山駅東口に着きます。